

第8次鷹栖町総合振興計画策定にかかる  
まちづくりに関するアンケート調査

調査結果報告書

平成30年11月



# 目 次

I	調査概要.....	1
II	調査結果.....	2
	1 あなたご自身のことについて.....	2
	2 鷹栖町での暮らしについて.....	15
	3 普段の買い物について.....	43
	4 まちづくり活動への関わりについて.....	49
	5 あなたにとっての「豊かさ」について.....	50



# I 調査概要

## 1 調査の目的

平成 32 年から平成 41 年を計画期間とする「第 8 次鷹栖町総合振興計画」の策定にあたり、鷹栖町の現状・課題を把握し、町民の意向を計画に反映することを目的としてアンケート調査を実施した。

## 2 調査方法

### (1) 調査対象

平成 30 年 7 月 1 日現在で鷹栖町にお住まいの 18 歳以上 74 歳以下の方の中から、地区別、年代別、男女別の構成を考慮したうえで、無作為に 1,000 人を抽出して対象とした。

### (2) 調査方法

調査票を郵送で発送・回収した。

### (3) 調査期間

平成 30 年 8 月 17 日（金）～平成 30 年 9 月 7 日（金）とした。

## 3 回収状況

1,000 件発送に対し、有効回収票は 471 件、回収率は 47.1%であった。

図表 I-3-1 回収状況

	件数	回収率
発送数	1,000	-
回収数	471	47.1%

## 4 過去に実施した調査との比較について

報告書の中で、過去に実施した調査の結果を掲載している項目がある。調査結果については下記の 2 件のものであり、報告書中では「平成 20 年度調査」「平成 26 年度調査」と記載する。

報告書内での標記	調査名（実施年度）
平成 20 年度調査	第 7 次鷹栖町総合振興計画策定「まちづくりに関するアンケート調査」（平成 20 年度）
平成 26 年度調査	第 7 次鷹栖町総合振興計画後期計画策定「まちづくりに関するアンケート調査」（平成 26 年度）

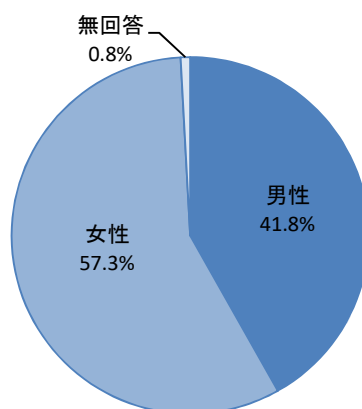
## Ⅱ 調査結果

### 1 あなたご自身のことについて

#### 問1 性別

性別については、「男性」が41.8%、「女性」が57.3%となっている。

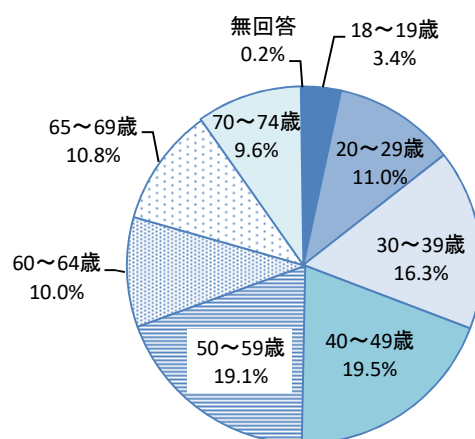
図表Ⅱ-1-1 性別 (N=471)



#### 問2 年齢

年齢については、「40～49歳」が19.5%と最も高く、次いで「50～59歳」が19.1%、「30～39歳」が16.3%となっている。

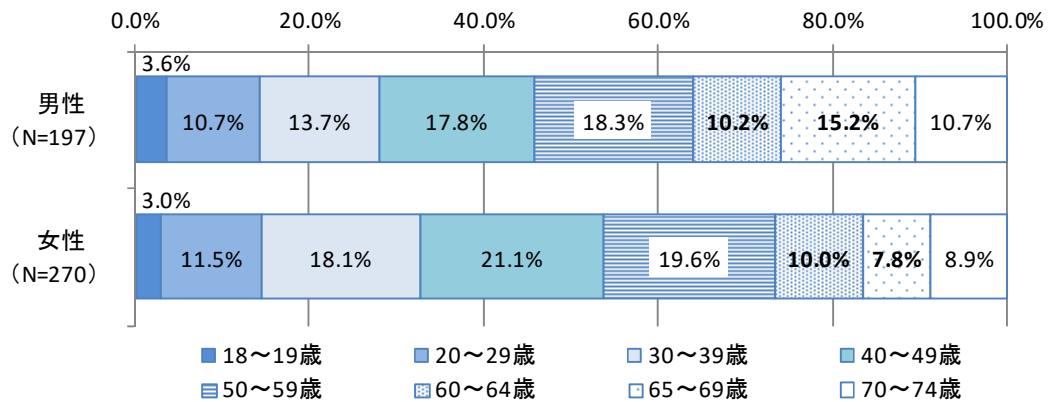
図表Ⅱ-1-2 年齢 (N=471)



性別に年齢をみると、「女性」では、「30～39歳」「40～49歳」の割合（それぞれ18.1%、21.1%）が、「男性」の割合（それぞれ13.7%、17.8%）よりやや高くなっている。

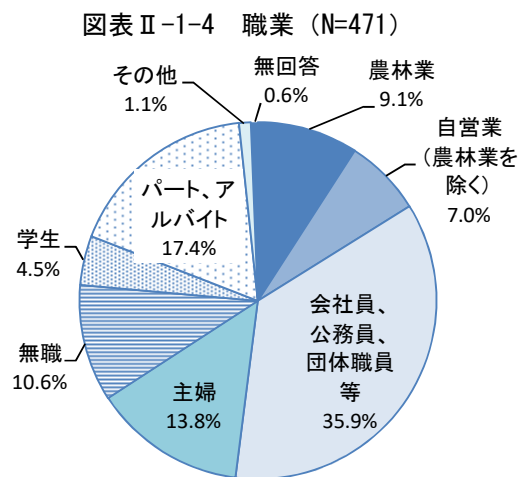
「男性」では、「65～69歳」（15.2%）で、「女性」の割合（7.8%）より高くなっている。

図表Ⅱ-1-3 年齢（性別）



### 問3 職業

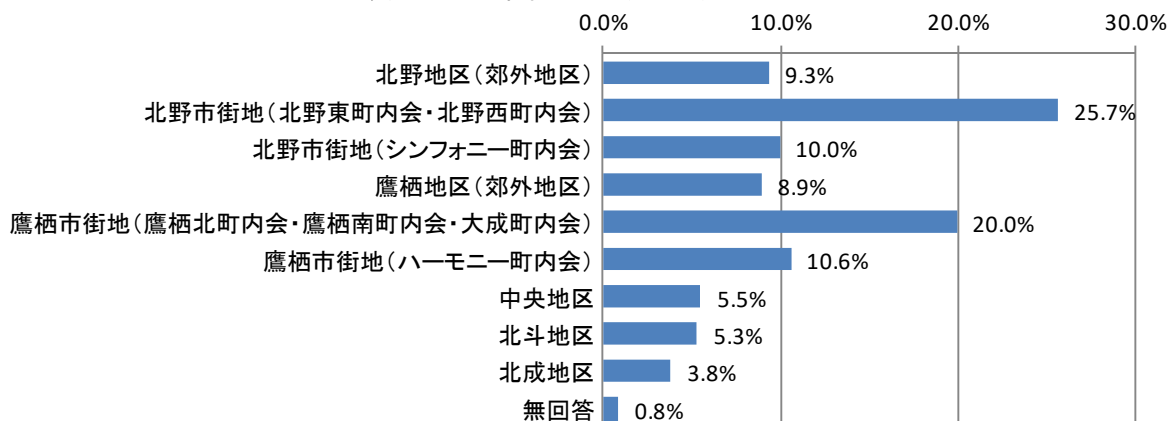
職業については、「会社員、公務員、団体職員等」が35.9%と最も高く、次いで「主婦」が13.8%、「無職」が10.6%、「農林業」が9.1%となっている。



#### 問4 居住地区

居住地区については、「北野市街地（北野東町内会・北野西町内会）」が25.7%と最も高く、次いで「鷹栖市街地（鷹栖北町内会・鷹栖南町内会・大成町内会）」が20.0%となっている。

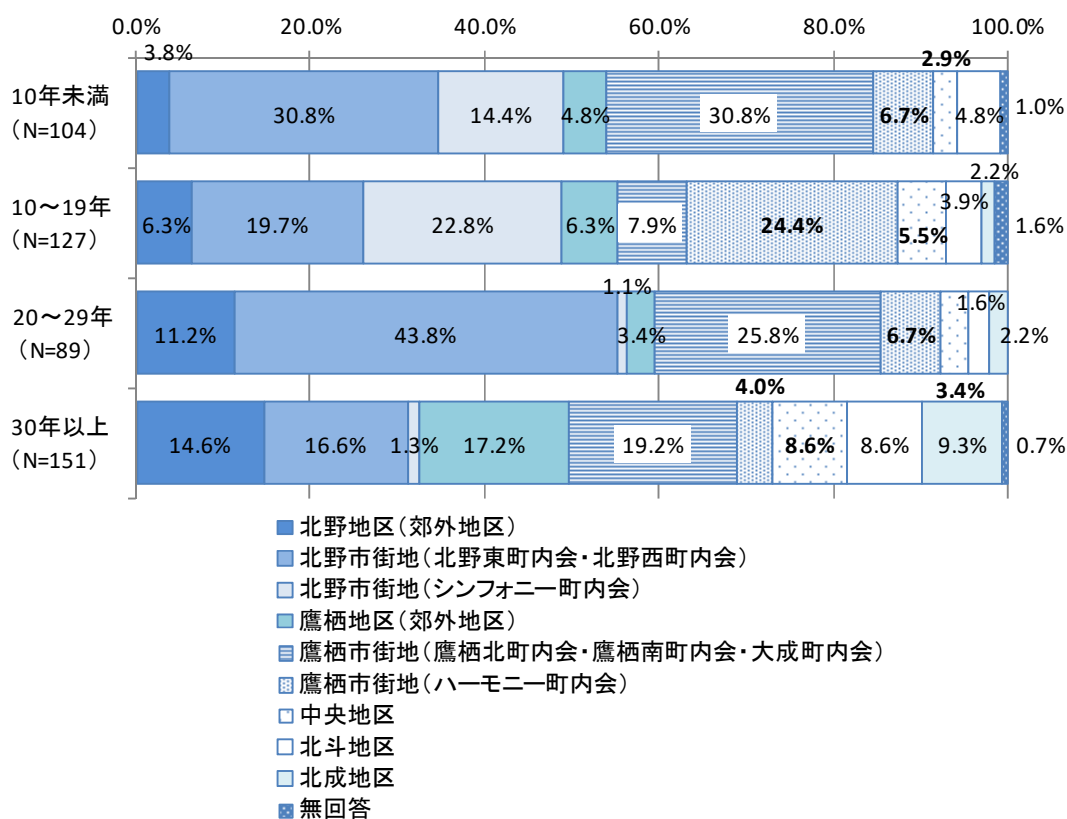
図表Ⅱ-1-5 居住地区（N=471）



居住年数別（問5）にみると、「10年未満」「10～19年」では「北野市街地（シンフォニー町内会）」がそれぞれ14.4%、22.8%と、他の項目と比べて割合が高くなっている。

また「20～29年」では「北野市街地（北野東町内会・北野西町内会）」が43.8%と、他の項目と比べて割合が高くなっている。

図表Ⅱ-1-6 居住地区（居住年数別）

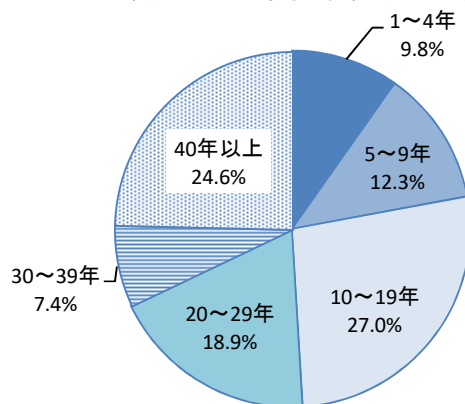




### 問5 居住年数

居住年数については、「10～19年」が27.0%と最も高く、次いで「40年以上」が24.6%となっている。

図表Ⅱ-1-7 居住年数 (N=471)

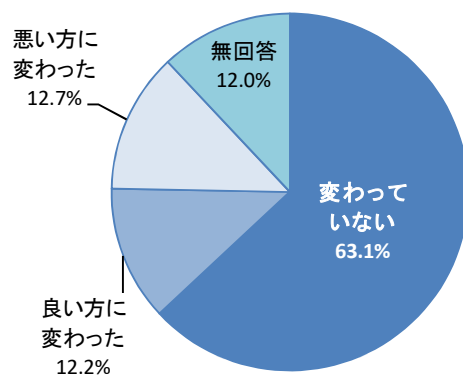


### 問6 最近5年間の鷹栖町の印象の変化

#### (1) 最近5年間の鷹栖町の印象の変化

問5で居住年数が5年以上と回答した425人に、最近5年間で鷹栖町に対する印象が変わったかをたずねたところ、「変わっていない」が63.1%と最も高く、次いで「悪い方に変った」が12.7%、「良い方に変った」が12.2%となっている。

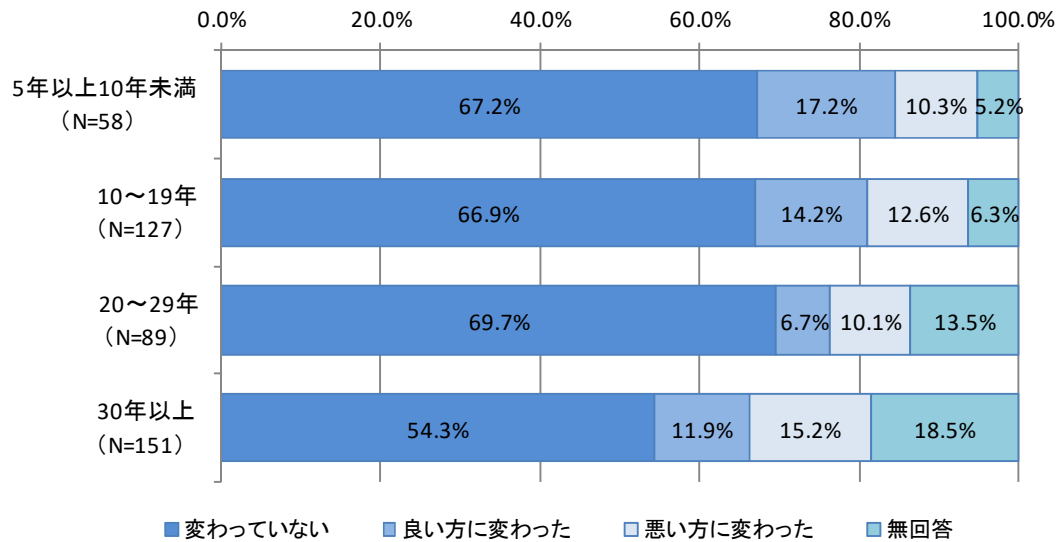
図表Ⅱ-1-8 最近5年間の鷹栖町の印象 (N=425)



居住年数別にみると、「5年以上10年未満」「10～19年」で「良い方に変わった」がそれぞれ17.2%、14.2%と、他の項目と比べて割合が高くなっている。

「30年以上」では「悪い方に変わった」が15.2%と、他の項目と比べてやや割合が高くなっている。

図表Ⅱ-1-9 最近5年間の鷹栖町の印象（居住年数別）



## (2) 変わったと思う理由

変わったと思う理由について自由に記入してもらったところ、主な意見は次のようであった。

### 【良い方に変わったと回答した方】

カテゴリ	主な意見
子育てや子どもに関わること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て、福祉に力を入れていると感じるから。(女性、30歳代)</li> <li>・子どもたちが挨拶してくれることに好感を持てた。(女性、30歳代)</li> <li>・子どもが小学生で町や社協主催のいろいろなイベントに参加させてもらった。(女性、30歳代)</li> <li>・ラジオ体操や盆踊りなど子どもが喜ぶことが多いから。(女性、40歳代)</li> <li>・公民館も新しくなるし、ますます子育て支援に期待できそう。(女性、40歳代)</li> <li>・子どもの増加に合わせてか、公園の遊具などの整備がきちんとされた。(女性、18～19歳)</li> <li>・子どもの医療費助成拡大(男性、60～64歳)</li> </ul>
住まいに関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅ができた。(男性、40歳代)</li> <li>・住宅地(シンフォニー)が造られ、にぎやかになった。(男性、18～19歳)</li> <li>・住宅地(シンフォニー)は子どもが増え活気がありよい。(男性、40歳代)</li> </ul>
公共施設や、商業施設などの充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備、保育園が新しくなった。(女性、30歳代)</li> <li>・コンビニが充実した。(男性、40歳代)</li> <li>・農地の整備が進んでいる。飲食店、コンビニの充実。(女性、50歳代)</li> <li>・昔の建物がなくなって寂しいところもあるが、新しい建物が多くなり、新しい鷹栖になってきている。(女性、50歳代)</li> </ul>
町民同士の交流などに関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル活動に参加するようになり、交流が増えた。(女性、40歳代)</li> <li>・町にかかわる時間が増えた。(女性、40歳代)</li> <li>・ふれあいの場ができたこと。(女性、70～74歳)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に関して色々行事をしていただくこと。(女性、70～74歳)</li> <li>・とても住みやすいまちだと思う。(男性、40歳代)</li> <li>・町がきれいになったと思う。(男性、18～19歳)</li> <li>・若い世代が多くなったなど感じた。(女性、20歳代)</li> <li>・町長が若くなり、現代的な取組がされている。(女性、50歳代)</li> </ul>

### 【悪い方に変わったと回答した方】

カテゴリ	主な意見
商業施設に関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くにスーパーがなくなった。(女性、60～64歳)</li> <li>・店が遠くて困る。(女性、70～74歳)</li> <li>・買い物や通院、雪が多く冬が大変など年齢を重ねていくほど不便を感じるようになった。(女性、60～64歳)</li> <li>・買い物をするスーパーがない。コンビニも商店へ戻ってしまった。(女性、40歳代)</li> <li>・食料品を買える店が減った。車がないと不便。(女性、50歳代)</li> <li>・人口の減少、商店の閉鎖(男性、65～69歳)</li> </ul>
少子高齢化や人口減少に関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が少なくなった。(男性、70～74歳)</li> <li>・子どもの数が少なく感じる。(男性、40歳代)</li> <li>・高齢が進み周りに子どもがいない。(男性、70～74歳)</li> <li>・鷹栖小の児童数がすごく減っていてさみしいと感じた。(女性、20歳代)</li> <li>・1人の世帯と高齢世帯が増えている。(女性、60～64歳)</li> </ul>

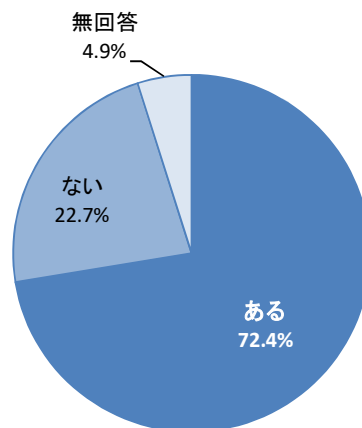
町民同士の交流や町民の意識などに関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統を町民全員で守り、繋いでいく意識が低下している。(男性、60～64歳)</li> <li>・ 中学生などから道であいさつされることが減った。(男性、40歳代)</li> <li>・ 町内での隣近所の交流がない。町内会での作業などに参加する人が少ない。(女性、70～74歳)</li> <li>・ 閉鎖的な人間関係。(女性、60～64歳)</li> </ul>
まちの賑わい、活気に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市街地。特に商店が衰退。(男性、50歳代)</li> <li>・ 活力感と刺激が薄れつつある。(男性、65～69歳)</li> <li>・ 色々なものが減って町というより地域になったようだ。(男性、40歳代)</li> <li>・ 鷹栖地区市街地の衰退。(男性、50歳代)</li> <li>・ 運動会、ラジオ体操の音が聞こえなくなったこと。(女性、70～74歳)</li> <li>・ 少子高齢化による主幹産業が衰えていった。(女性、50歳代)</li> <li>・ 人口減少。街なかのにぎわいが減少。町の発展の目途が明確に見えてこない。(女性、70～74歳)</li> </ul>
交通に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬道の交通の不便さを感じる。(女性、60～64歳)</li> <li>・ 交通量が増えた。(男性、40歳代)</li> <li>・ バスが減った。(女性、50歳代)</li> <li>・ だんだん商店がなくなり、バスがなくなり、さびれ、買い物がしづらくなり、町営バスができて時間も合わせなくてはならないので不便(女性、70～74歳)</li> <li>・ 車がないと不便。(女性、50歳代)</li> </ul>
ゴミの分別などに関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミ分別が細かくなりすぎ。(女性、40歳代)</li> <li>・ ごみの分別が更にわかりにくくなった。(女性、40歳代)</li> <li>・ ゴミを焼く家があったり、ゴミ焼きを平然としていて空気が悪い。(男性、50歳代)</li> </ul>
除排雪に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 除雪、排雪が雑になった。(女性、20歳代)</li> <li>・ 以前は除雪がとてもよかったが、今は除排雪が不十分で通りにくい場所もある。(女性、40歳代)</li> <li>・ 除雪が悪くなった。(男性、65～69歳)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅は増えたが、それ以外に町が発展していない。(女性、40歳代)</li> <li>・ 子育てしやすいと思っていたが少し違っていた。(女性、30歳代)</li> <li>・ 歩道がきたない。発展を夢見てきたが、さびれた汚い暗い町と言われた通りになった。(女性、50歳代)</li> <li>・ 住民センターを利用する人が大変少ない。殊に図書室の利用はもったいない限り。(女性、70～74歳)</li> <li>・ 鷹栖集中が目立っている。(女性、60～64歳)</li> <li>・ 農薬散布、除草剤散布が苦しい。(女性、40歳代)</li> </ul>

## 問7 鷹栖町外から引っ越してきた経験

### (1) 鷹栖町外から引っ越してきた経験

鷹栖町外から引っ越した経験があるかをたずねたところ、「ある」が72.4%、「ない」が22.7%となっている。

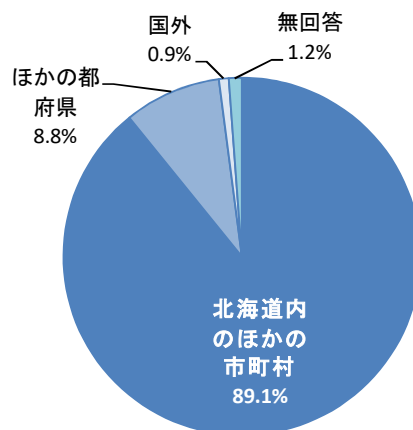
図表Ⅱ-1-10 鷹栖町外から引っ越してきた経験 (N=471)



### (2) 引っ越してくる前の住まい

鷹栖町外から引っ越した経験があると回答した341人に、引っ越す前の住まいをたずねたところ、「北海道内のほかの市町村」が89.1%、「ほかの都府県」が8.8%となっている。

図表Ⅱ-1-11 引っ越してくる前の住まい (N=341)



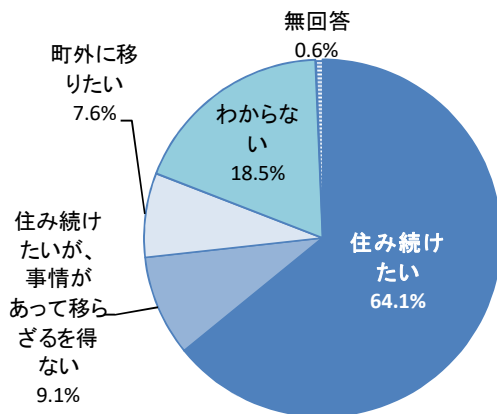
「北海道内のほかの市町村」と回答した304人に、具体的な市町村名を記載してもらったところ、旭川市(202人)、札幌市(14人)、富良野市(6人)、深川市・岩見沢市・当麻町(4人)などであった。

また、「ほかの都府県」と回答した30人に、具体的な都府県名を記載してもらったところ、埼玉県(6人)、神奈川県(5人)、東京都(3人)、愛知県(2人)などであった。

### 問8 将来の鷹栖町への居住意向

将来も鷹栖町に住み続けたいかをたずねたところ、「住み続けたい」が64.1%、「わからない」が18.5%、「住み続けたいが、事情があって移らざるを得ない」が9.1%、「町外に移りたい」が7.6%となっている。

図表Ⅱ-1-12 将来の鷹栖町への居住意向 (N=471)

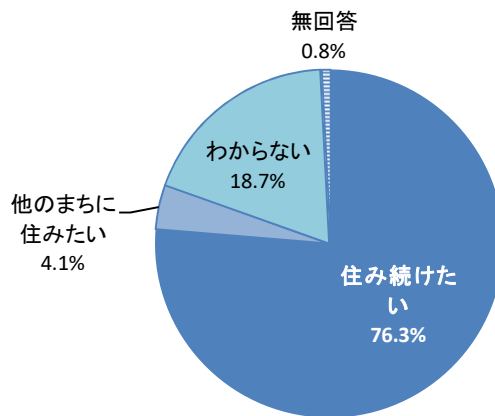
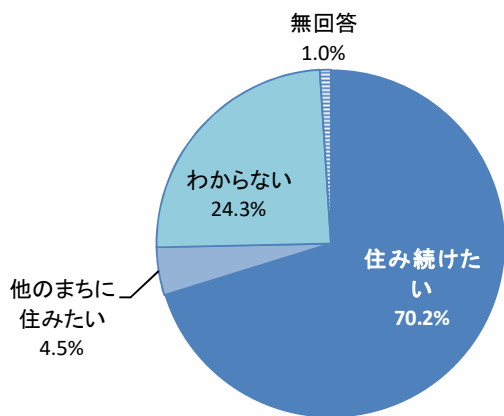


過去実施調査の結果をみると、「住み続けたい」の割合は「平成20年度調査」で70.2%、「平成26年度調査」で76.3%となっている。

図表Ⅱ-1-13 将来の鷹栖町への居住意向 (過去実施調査の結果)

【平成20年度調査 (N=363)】

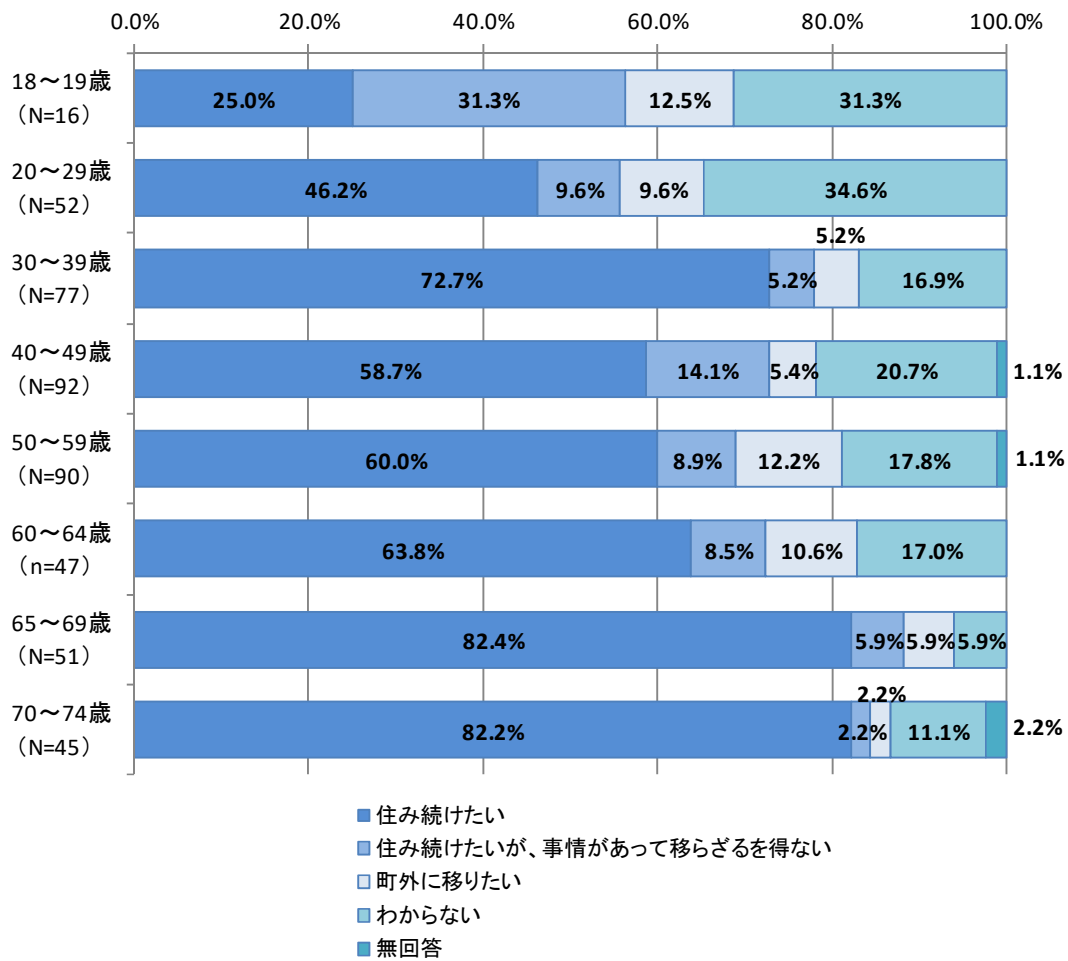
【平成26年度調査 (N=292)】



年齢別にみると、「18～19歳」「20～29歳」では「わからない」がそれぞれ31.3%、34.6%と、他の年齢と比べて割合が高くなっている。また「18～19歳」では「住み続けたいが、事情があって移らざるを得ない」が31.3%と、他の年齢と比べて割合が高くなっている。

「65～69歳」「70～74歳」では「住み続けたい」がそれぞれ82.4%、82.2%と8割を超えている。また「30～39歳」では「住み続けたい」が72.7%であり、比較的高い割合となっている。

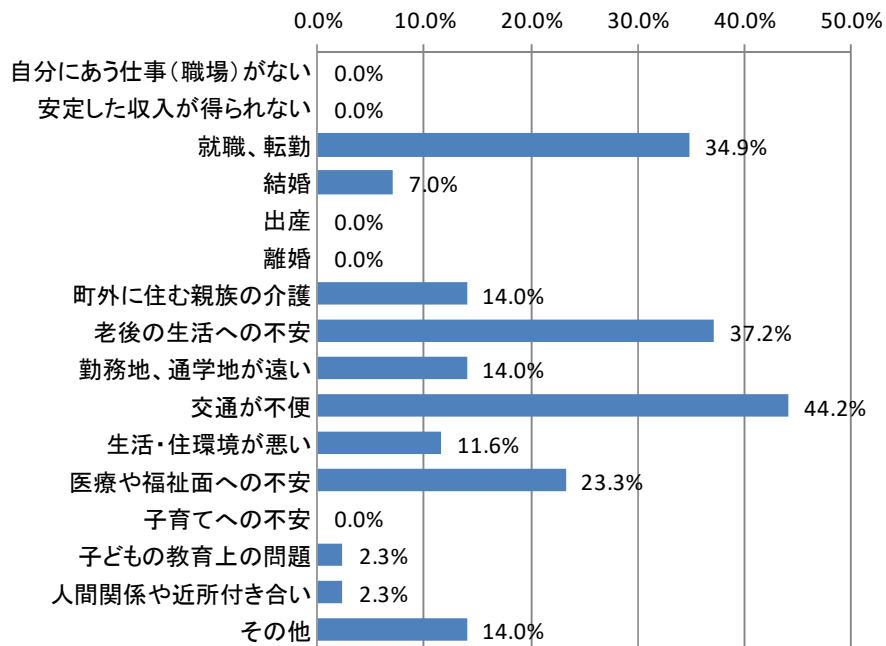
図表Ⅱ-1-14 将来の鷹栖町への居留意向（年齢別）



### 問9 事情があって鷹栖町から移らざるを得ない理由

問8で「住み続けたいが、事情があって移らざるを得ない」と回答した43人に、その理由をたずねたところ、「交通が不便」が44.2%と最も高く、次いで「老後の生活への不安」が37.2%、「就職、転勤」が34.9%となっている。

図表Ⅱ-1-15 事情があって鷹栖町から移らざるを得ない理由（複数回答、N=43）





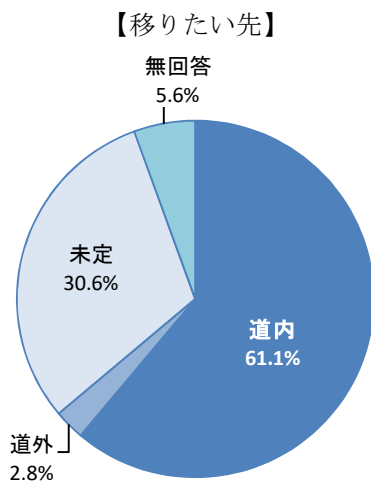
## 問 10 町外に移りたい方の意向

### (1) 移りたい先

問 8 で「町外に移りたい」と回答した 36 人に、移りたい先をたずねたところ、「道内」が 61.1% と最も高く、次いで「未定」が 30.6%、「道外」が 2.8%となっている。

具体的な市町村名について、「道内」では旭川市（11 件）、札幌市（9 件）、「道外」では神奈川県（1 件）などであった。

図表Ⅱ-1-16 移りたい先 (N=36)



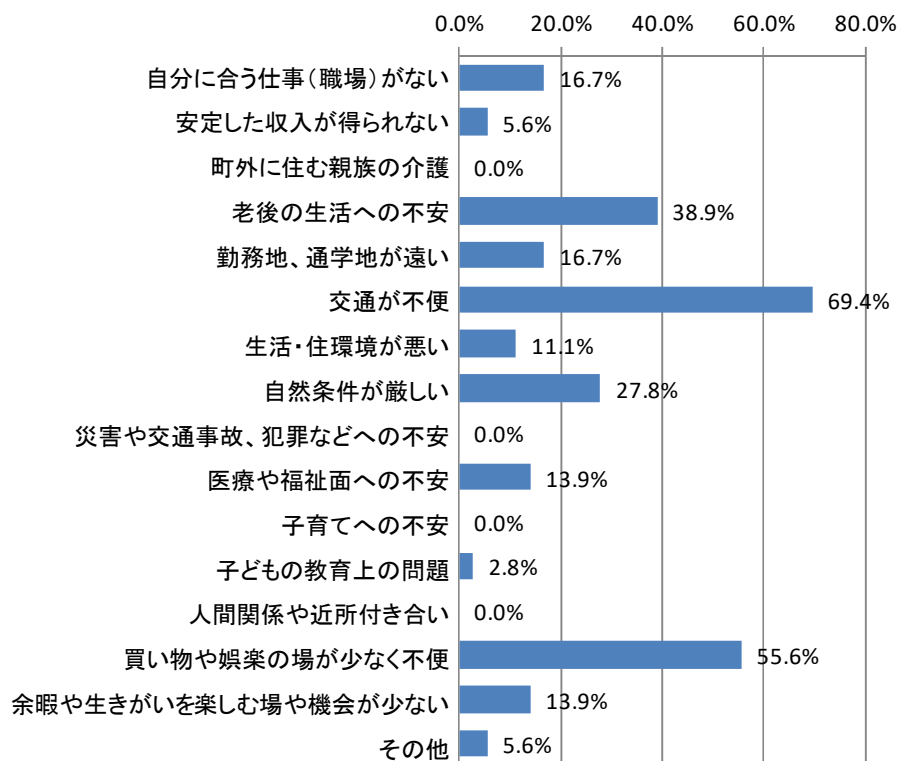
【移りたい市町村・都府県】

移りたい先	市町村・都府県	件数
道内	旭川市	11
	札幌市	9
	旭川または札幌	1
	未記入	1
道外	神奈川県	1

## (2) 町外に移りたいと思う理由

問8で「町外に移りたい」と回答した36人に、町外に移りたいと思う理由をたずねたところ、「交通が不便」が69.4%と最も高く、次いで「買い物や娯楽の場が少なく不便」が55.6%、「老後の生活への不安」が38.9%となっている。

図表Ⅱ-1-17 町外に移りたいと思う理由 (N=36)



## 2 鷹栖町での暮らしについて

### 問11 鷹栖町での暮らしについて

鷹栖町での暮らしについて、どのように感じているか、また、まちづくりで特に重要だと思う項目についてたずねた。

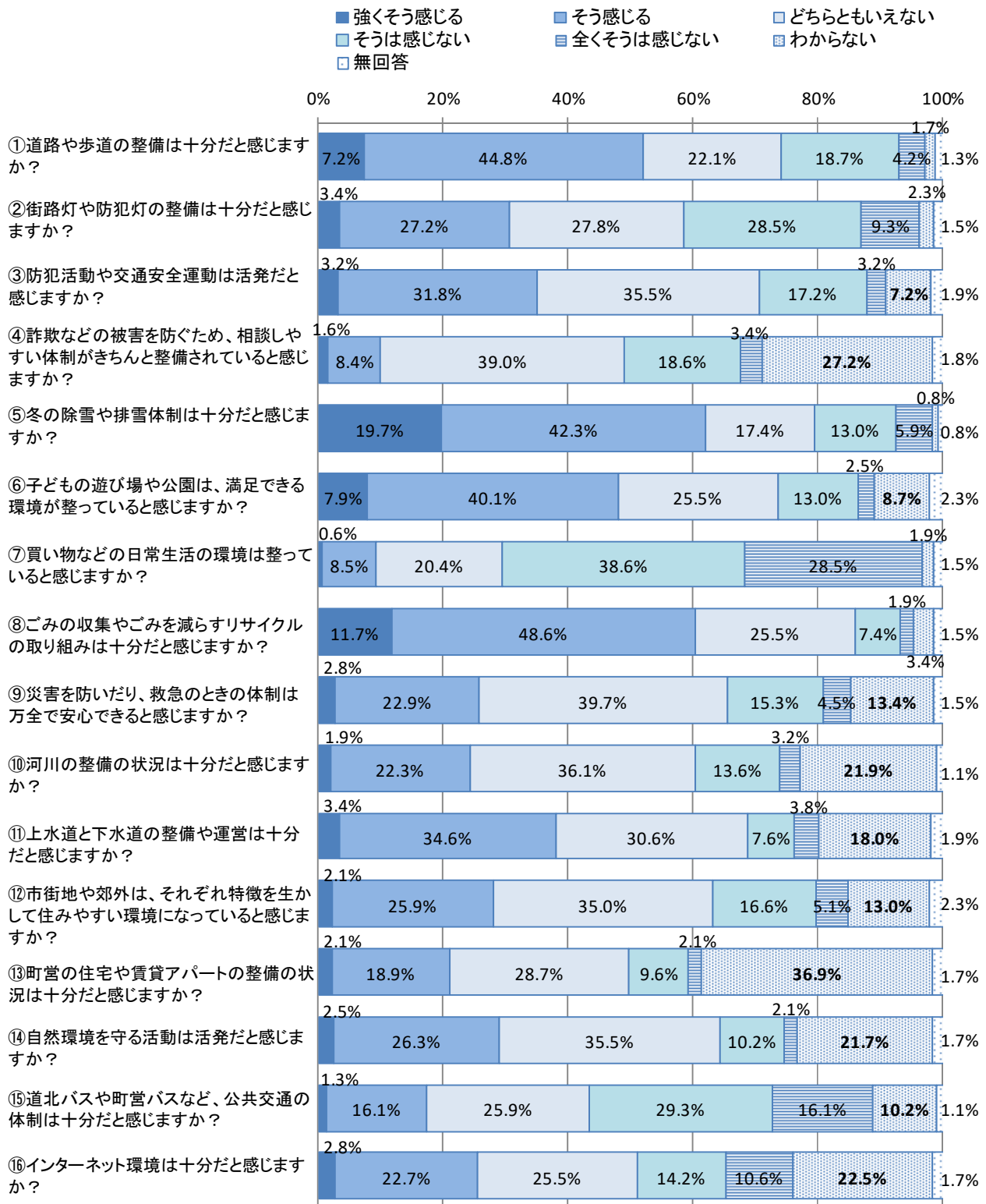
#### (1) 生活や環境に関すること

##### 【どのように感じているか】

生活や環境に関することについて、十分だと感じている（「強くそう感じる」「そう感じる」）割合が5割を超えていたのは、「道路や歩道の整備」（7.2%、44.8%）、「冬の除雪や排雪体制」（19.7%、42.3%）、「ごみの収集やごみを減らすリサイクルの取り組み」（11.7%、48.6%）であった。

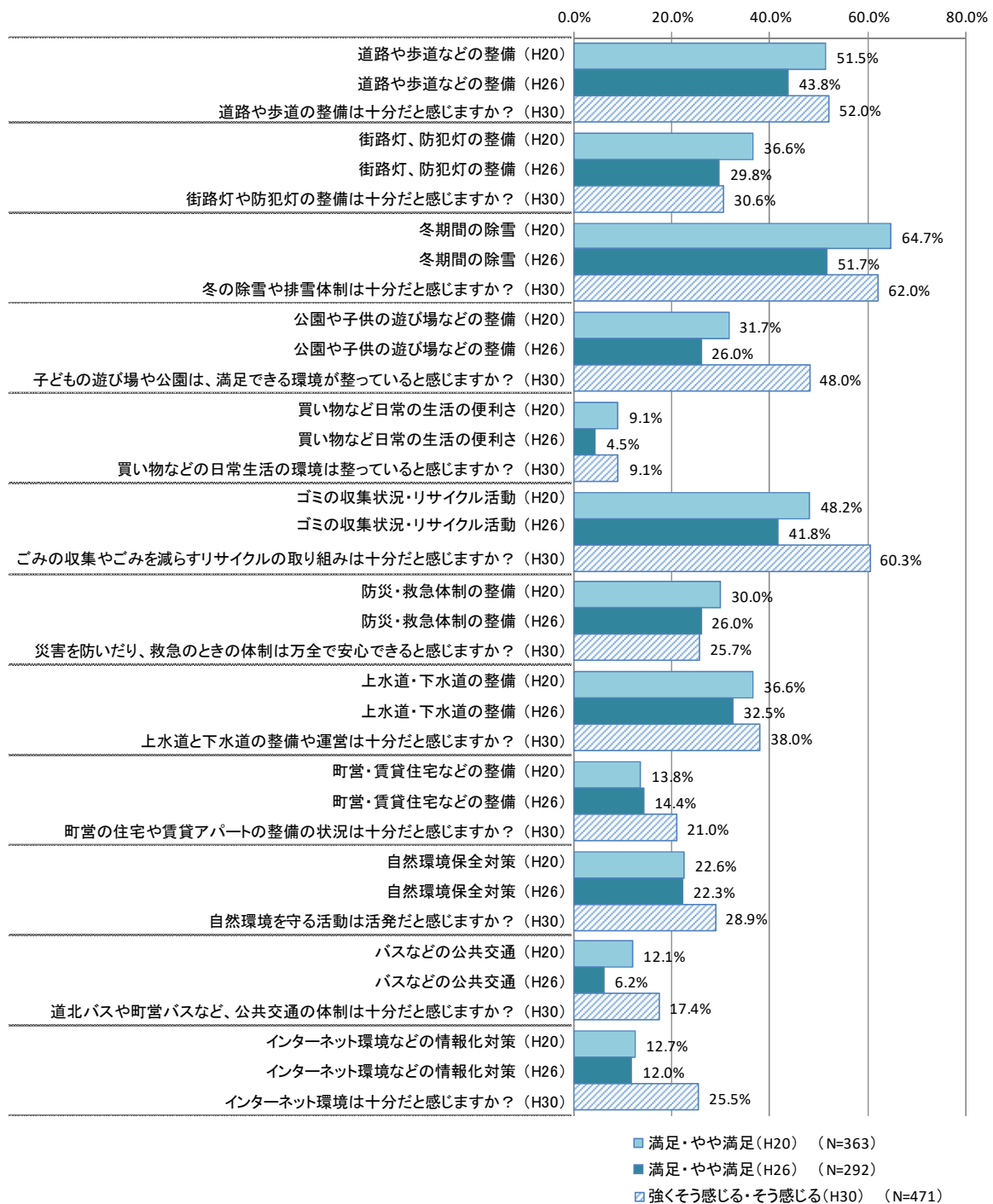
一方、十分ではないと感じている（「そうは感じない」「全くそうは感じない」）割合が5割を超えていたのは、「買い物などの日常生活の環境」（38.6%、28.5%）であった。

図表Ⅱ-2-1 生活や環境に関すること【どのように感じているか】(N=471)



過去実施調査においてまちづくりに関わる「満足度」をたずねる項目があり、可能な範囲で結果を比較する。過去実施調査で「満足・やや満足」、今年度調査で「強くそう感じる・そう感じる」と回答した割合を比べてみると、「子どもの遊び場や公園は、満足できる環境が整っていると感じますか?」「ごみの収集やごみを減らすリサイクルの取組は十分だと感じますか?」「自然環境を守る活動は活発だと感じますか?」「インターネット環境は十分だと感じますか?」などの項目で、過去実施調査より割合が高くなっている。

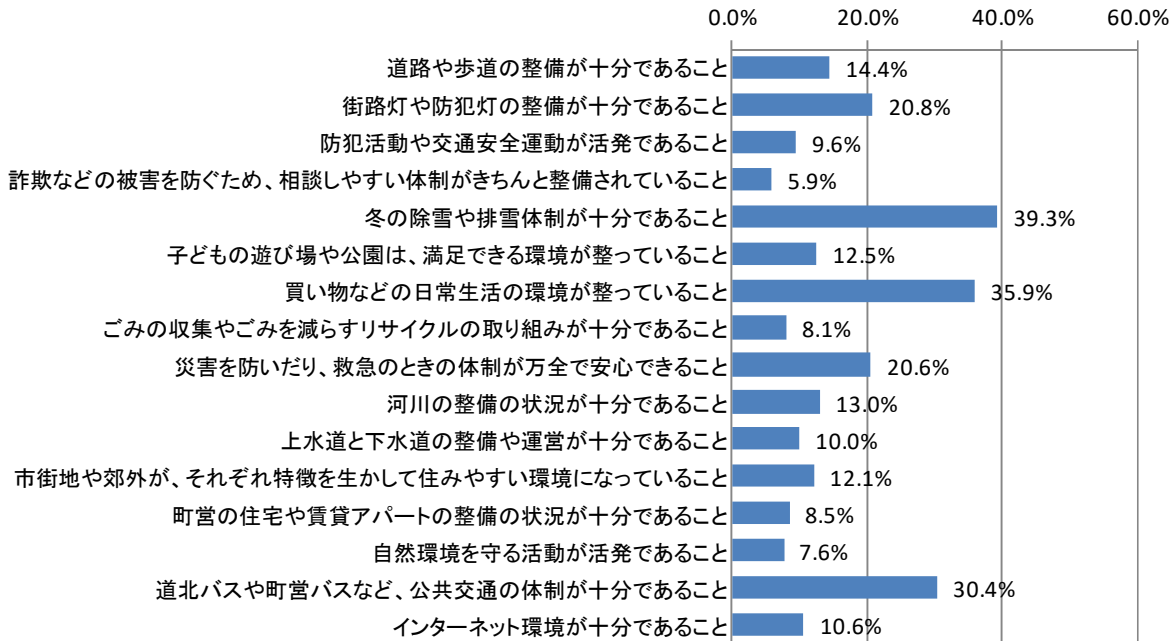
図表Ⅱ-2-2 過去実施調査との比較（生活や環境に関すること）



【特に重要だと思う項目】

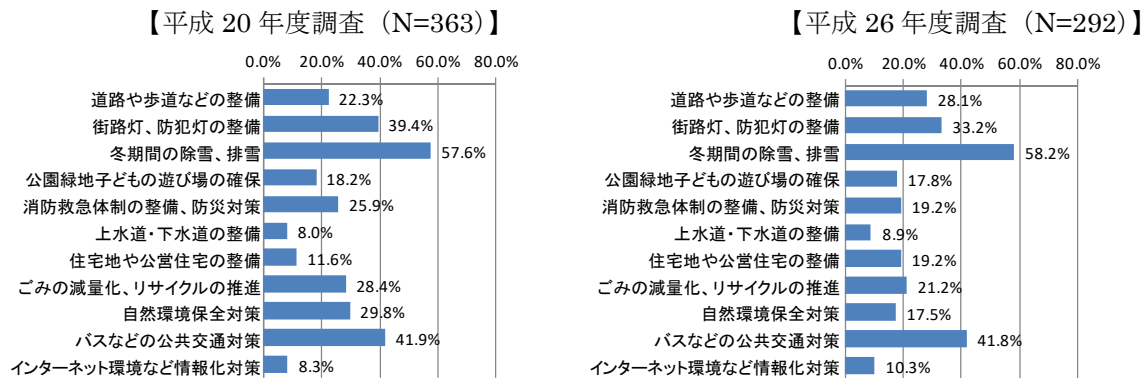
生活や環境に関することで特に重要だと思う項目については、「冬の除雪や排雪体制が十分であること」が39.3%と最も高く、次いで「買い物などの日常生活の環境が整っていること」が35.9%、「道北バスや町営バスなど、公共交通の体制が十分であること」が30.4%となっている。

図表Ⅱ-2-3 生活や環境に関すること【特に重要だと思う項目】（複数回答、N=471）



過去実施調査においては、「冬期間除雪、排雪」「バスなどの公共交通対策」「街路灯、防犯灯の整備」などの重要度が高かった。

図表Ⅱ-2-4 生活や環境に関すること【重要度】（過去実施調査の結果）



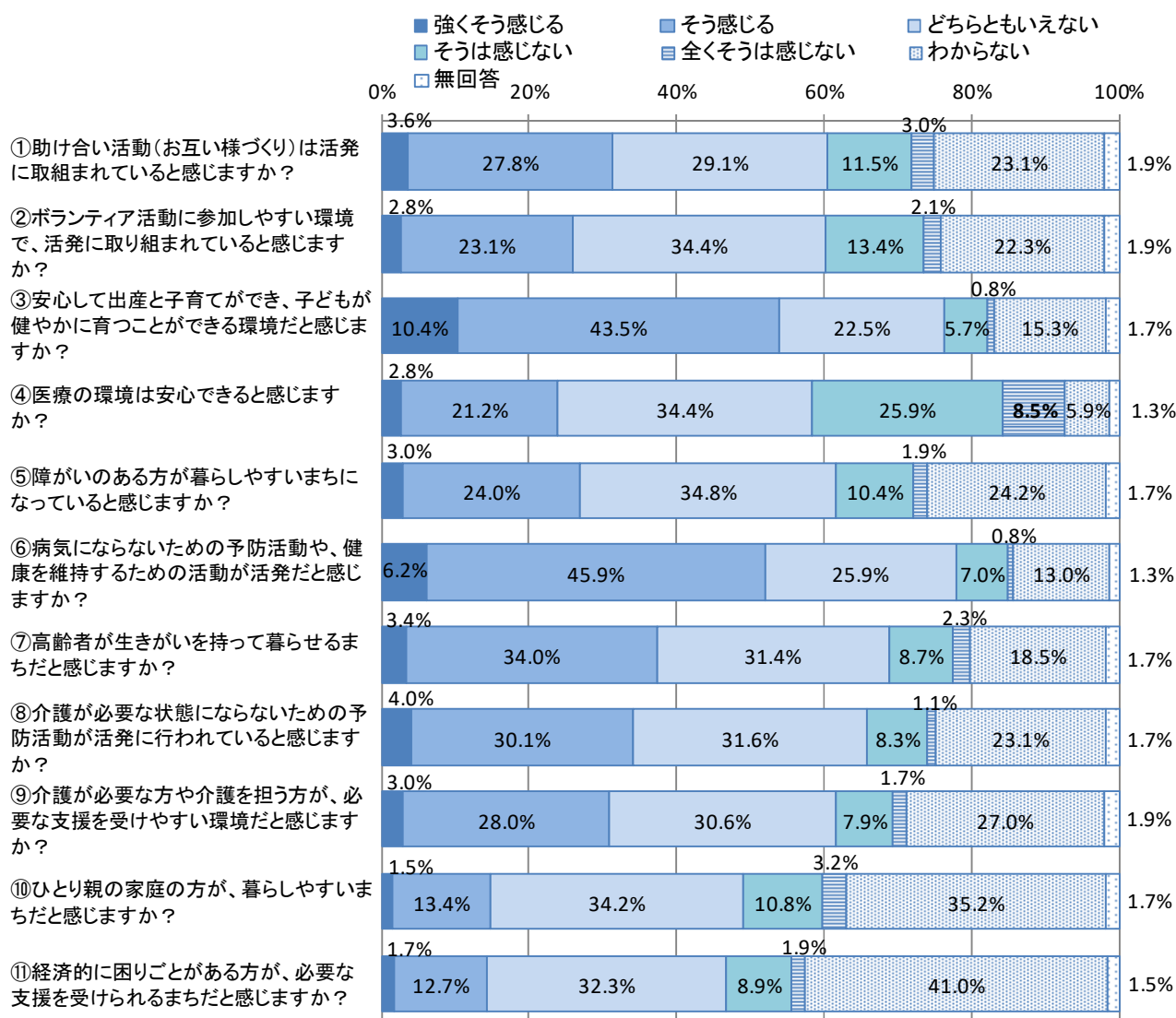
## (2) 健康や福祉に関すること

### 【どのように感じているか】

健康や福祉に関することについて、十分だと感じている（「強くそう感じる」「そう感じる」）割合が5割を超えていたのは、「安心して出産と子育てができ、子どもが健やかに育つことができる環境」（10.4%、43.5%）、「病気になるための予防活動や、健康を維持するための活動」（6.2%、45.9%）であった。

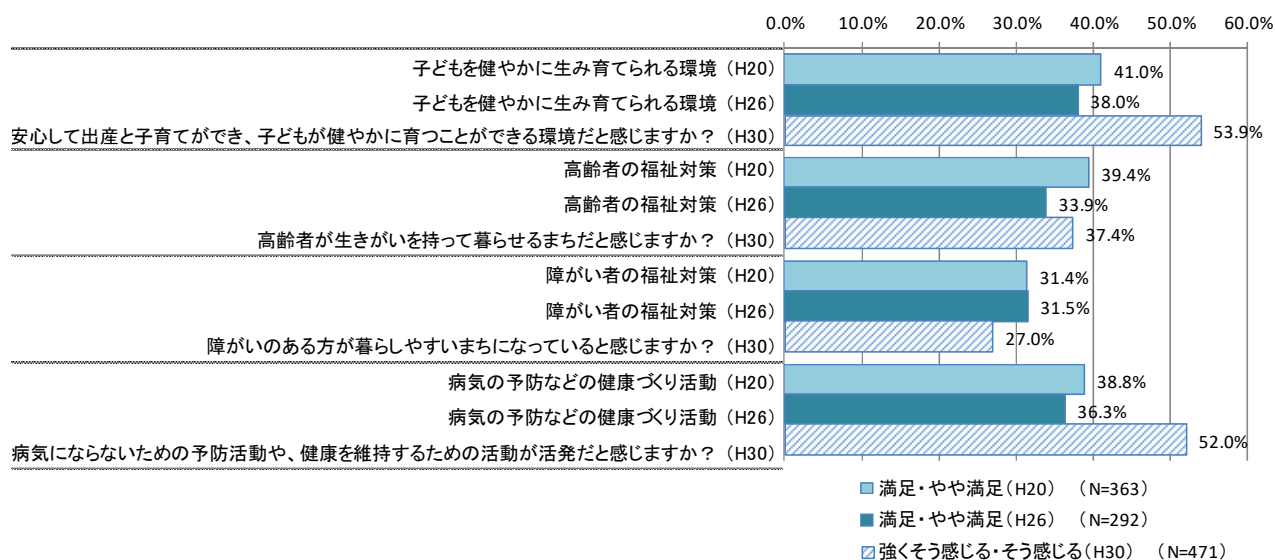
一方、十分ではないと感じている（「そうは感じない」「全くそうは感じない」）割合が高かったのは、「医療の環境」で、「そうは感じない」が25.9%、「全くそうは感じない」が8.5%となっている。

図表Ⅱ-2-5 健康や福祉に関すること【どのように感じているか】(N=471)



過去実施調査においてまちづくりに関わる「満足度」をたずねる項目があり、可能な範囲で結果を比較する。過去実施調査で「満足・やや満足」、今年度調査で「強くそう感じる・そう感じる」と回答した割合を比べてみると、「安心して出産と子育てができ、子どもが健やかに育つことができる環境だと感じますか?」「病気になるための予防活動や、健康を維持するための活動が活発だと感じますか?」では、過去実施調査より割合が高くなっている。

図表Ⅱ-2-6 過去実施調査との比較（健康や福祉に関すること）

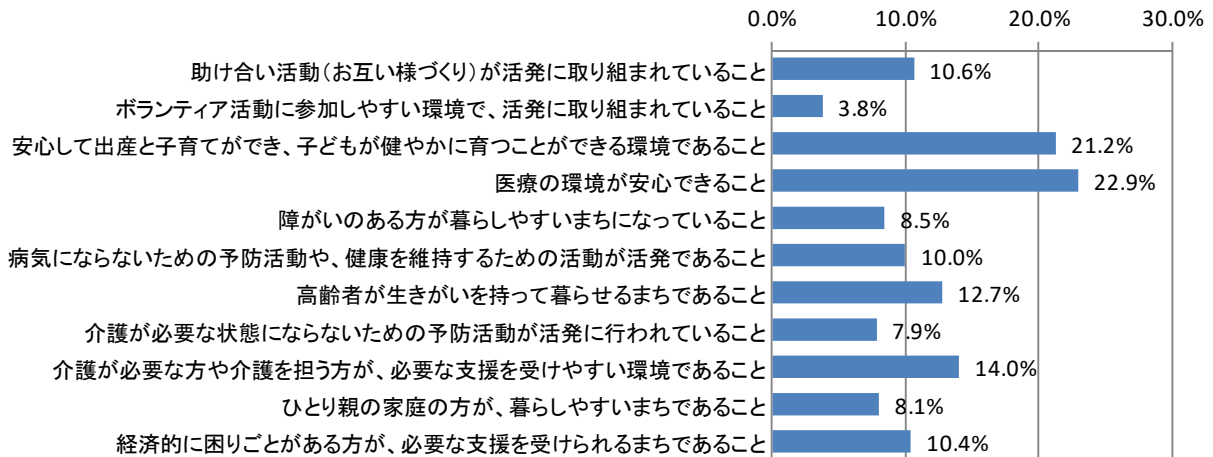




【特に重要だと思う項目】

健康や福祉に関することで特に重要だと思う項目については、「医療の環境が安心できること」が22.9%と最も高く、次いで「安心して出産と子育てができ、子どもが健やかに育つことができる環境であること」が21.2%となっている。

図表Ⅱ-2-7 健康や福祉に関すること【特に重要だと思う項目】（複数回答、N=471）

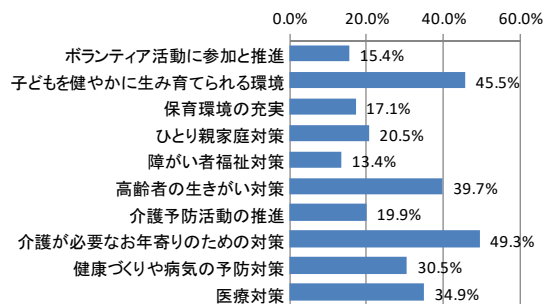
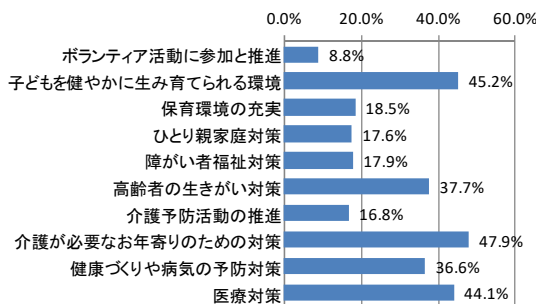


過去実施調査においては、「介護が必要なお年寄りのための対策」「子どもを健やかに生み育てられる環境」「医療対策」「高齢者の生きがい対策」などの重要度が高かった。

図表Ⅱ-2-8 健康や福祉に関すること【重要度】（過去実施調査の結果）

【平成20年度調査（N=363）】

【平成26年度調査（N=292）】



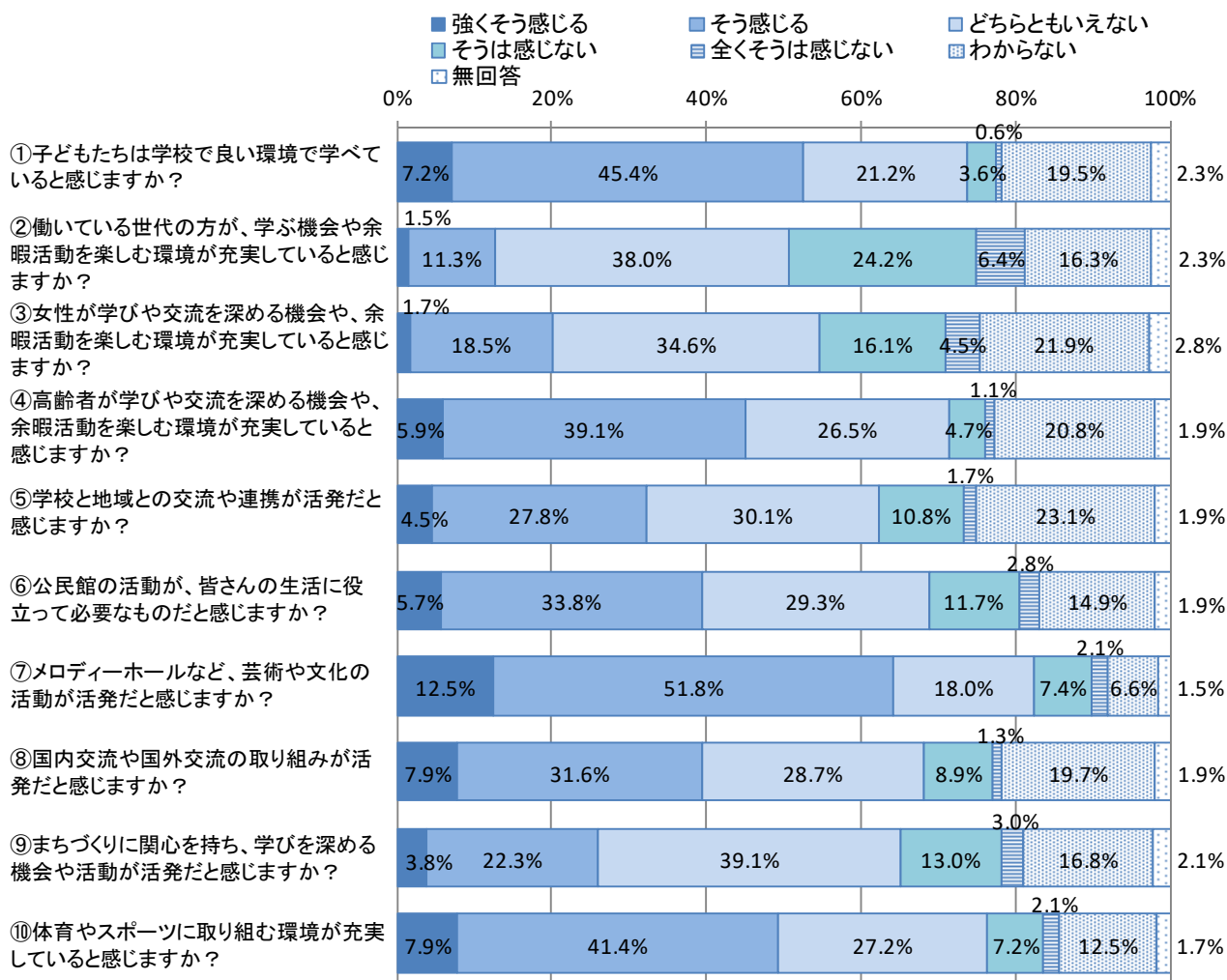
### (3) 教育や地域活動に関すること

#### 【どのように感じているか】

教育や地域活動に関することについて、十分だと感じている（「強くそう感じる」「そう感じる」）割合が5割を超えていたのは、「子どもたちは学校で良い環境で学んでいる」（7.2%、45.4%）、「メロディホールなど、芸術や文化の活動が活発」（12.5%、51.8%）であった。

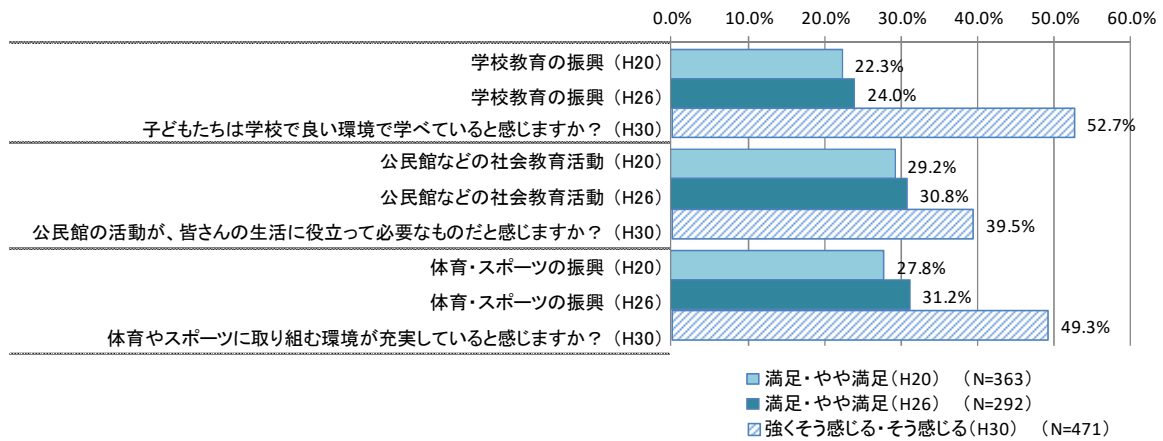
一方、十分ではないと感じている（「そうは感じない」「全くそうは感じない」）割合が高かったのは、「働いている世代の方が、学ぶ機会や余暇活動を楽しむ環境が充実している」で、「そうは感じない」が24.2%、「全くそうは感じない」が6.4%となっている。

図表Ⅱ-2-9 教育や地域活動に関すること【どのように感じているか】(N=471)



過去実施調査においてまちづくりに関わる「満足度」をたずねる項目があり、可能な範囲で結果を比較する。過去実施調査で「満足・やや満足」、今年度調査で「強くそう感じる・そう感じる」と回答した割合を比べてみると、いずれの項目でも、過去調査より割合が高くなっている。

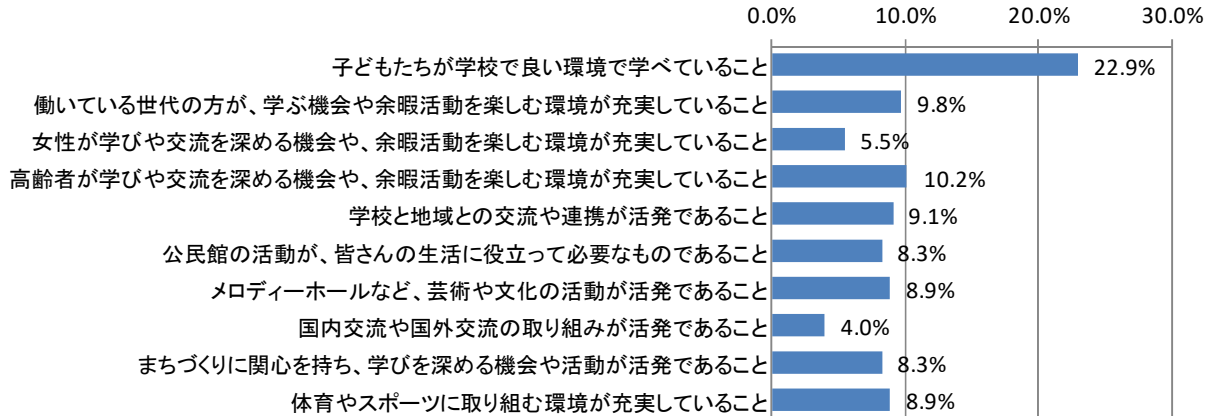
図表Ⅱ-2-10 過去実施調査との比較（教育や地域活動に関すること）（N=471）



【特に重要だと思う項目】

教育や地域活動に関することで特に重要だと思う項目については、「子どもたちが学校で良い環境で学んでいること」が22.9%と最も高く、次いで「高齢者が学びや交流を深める機会や、余暇活動を楽しむ環境が充実していること」が10.2%となっている。

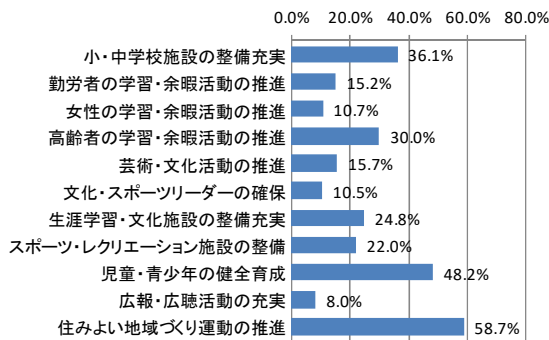
図表Ⅱ-2-11 教育や地域活動に関すること【特に重要だと思う項目】（複数回答、N=471）



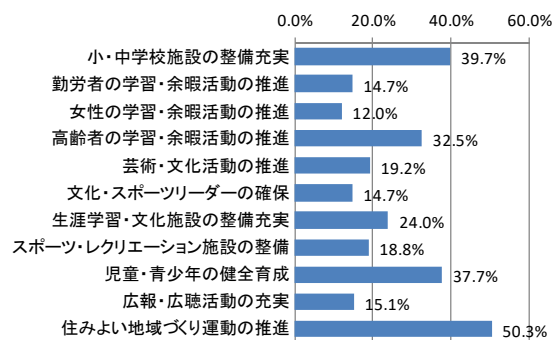
過去実施調査においては、「住みよい地域づくり運動の推進」「児童・青少年の健全育成」「高齢者の学習・余暇活動の推進」「小・中学校施設の整備充実」などの重要度が高かった。

図表Ⅱ-2-12 教育や地域活動に関すること【重要度】（過去実施調査の結果）

【平成20年度調査（N=363）】



【平成26年度調査（N=292）】



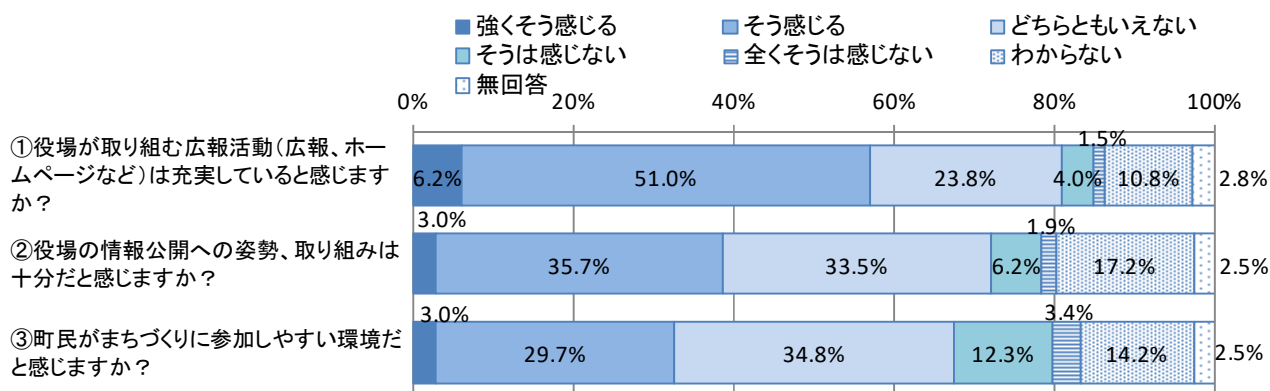
#### (4) 役場の広報活動などに関すること

##### 【どのように感じているか】

役場の広報活動などに関することについて、十分だと感じている（「強くそう感じる」「そう感じる」）割合が5割を超えていたのは、「役場が取り組む広報活動（広報、ホームページなど）は充実している」（6.2%、51.0%）であった。

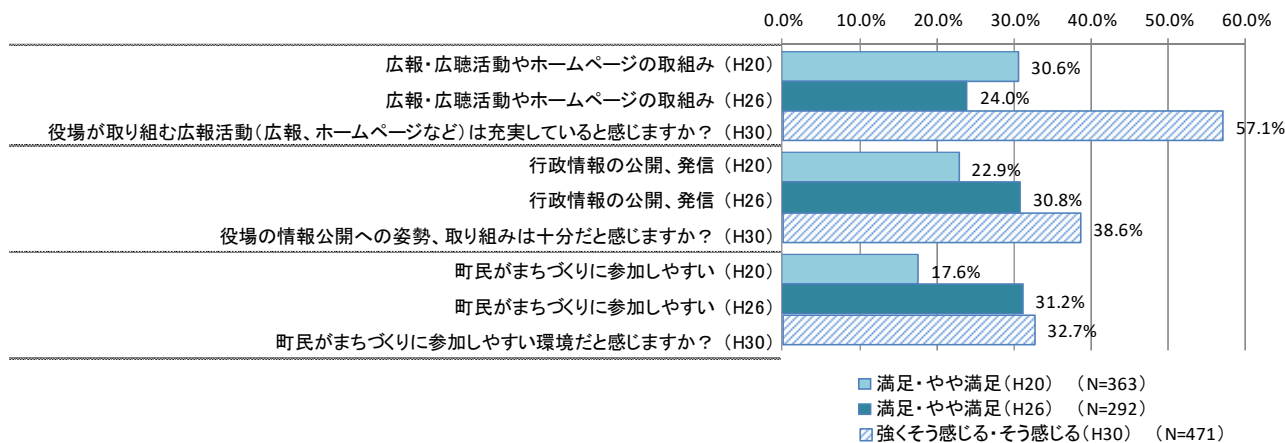
一方、十分ではないと感じている（「そうは感じない」「全くそうは感じない」）割合が高かったのは、「町民がまちづくりに参加しやすい環境」で、「そうは感じない」が12.3%、「全くそうは感じない」が3.4%となっている。

図表Ⅱ-2-13 役場の広報活動などに関すること【どのように感じているか】(N=471)



過去実施調査においてまちづくりに関わる「満足度」をたずねる項目があり、可能な範囲で結果を比較する。過去実施調査で「満足・やや満足」、今年度調査で「強くそう感じる・そう感じる」と回答した割合を比べてみると、いずれの項目でも過去調査より割合が高くなっている。特に「役場が取り組む広報活動（広報、ホームページなど）は充実していると感じますか？」で高くなっている。

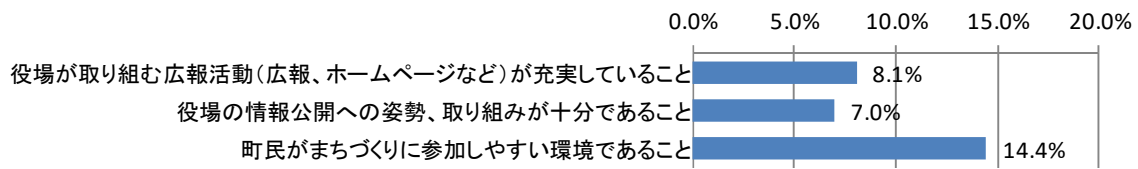
図表Ⅱ-2-14 過去実施調査との比較（役場の広報活動などに関すること）



### 【特に重要だと思う項目】

役場の広報活動などに関する事で特に重要だと思う項目については、「町民がまちづくりに参加しやすい環境であること」が14.4%と最も高くなっている。

図表Ⅱ-2-15 役場の広報活動などに関する事【特に重要だと思う項目】(複数回答、N=471)



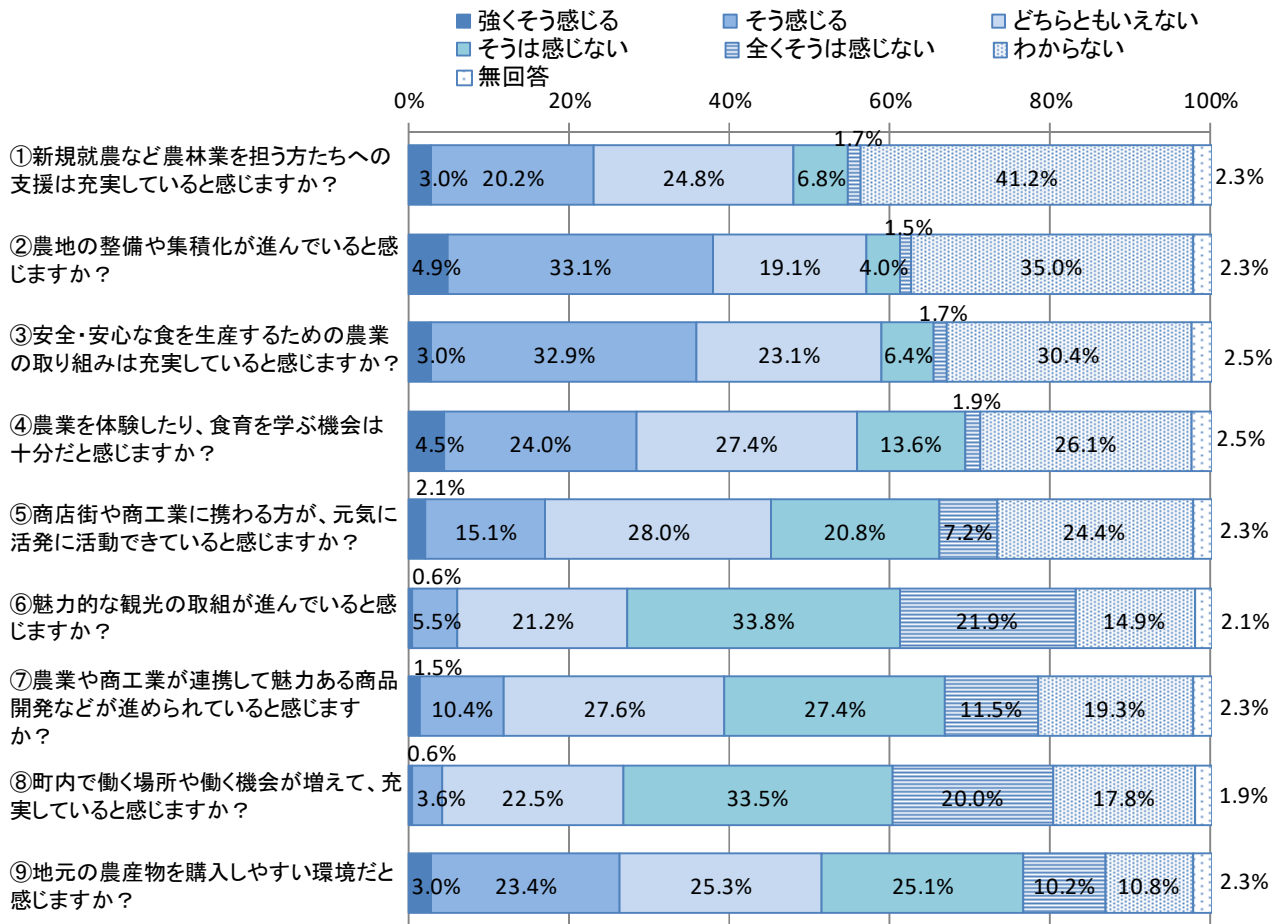
(5) 産業に関すること

【どのように感じているか】

産業に関することについて、十分だと感じている（「強くそう感じる」「そう感じる」）割合が高かったのは、「農地の整備や集積化が進んでいる」（4.9%、33.1%）、「安全・安心な食を生産するための農業の取り組みは充実している」（3.0%、32.9%）であった。

一方、十分ではないと感じている（「そうは感じない」「全くそうは感じない」）割合が5割を超えていたのは、「魅力的な観光の取り組みが進んでいる」（33.8%、21.9%）、「町内で働く場所や働く機会が増えて、充実している」（33.5%、20.0%）であった。

図表Ⅱ-2-16 産業に関すること【どのように感じているか】(N=471)

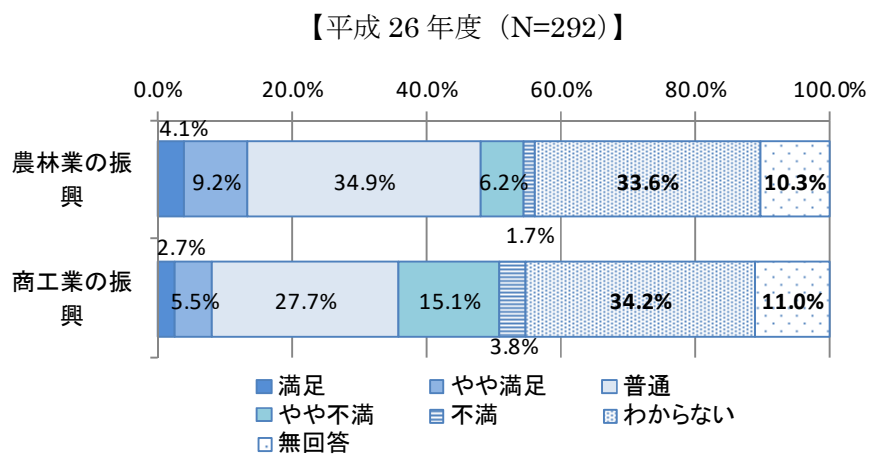
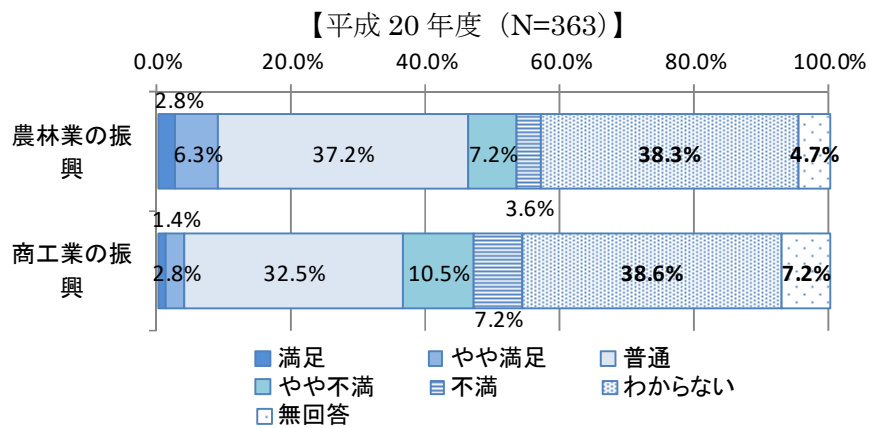


過去実施調査においてまちづくりに関わる「満足度」をたずねる項目があり、可能な範囲で結果を比較する。

平成 20 年度調査では、「農林業の振興」に「満足・やや満足」と回答したものは 9.1%、「商工業の振興」に「満足・やや満足」と回答したものは 4.2%であった。

平成 26 年度調査では、「農林業の振興」に「満足・やや満足」と回答したものは 13.3%、「商工業の振興」に「満足・やや満足」と回答したものは 8.2%であった。

図表Ⅱ-2-17 過去実施調査との比較（産業に関すること）

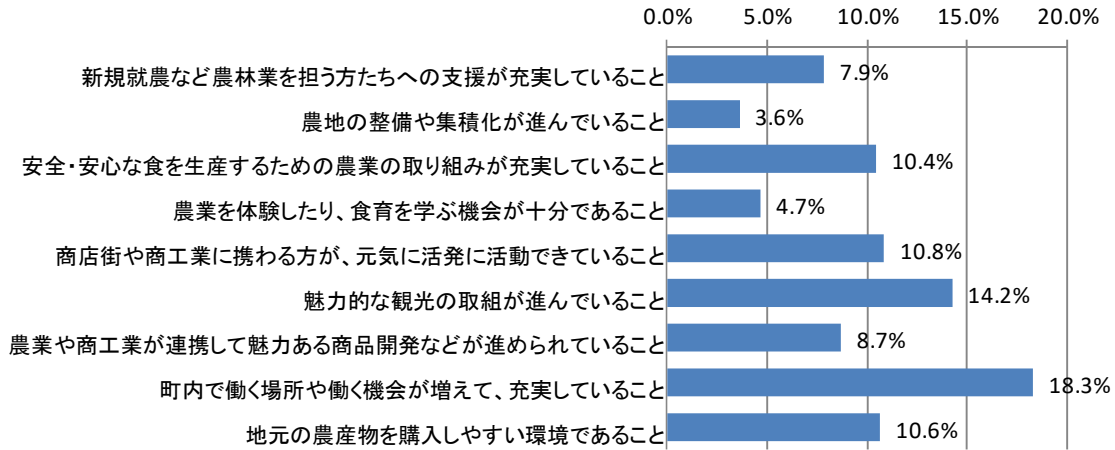




【特に重要だと思う項目】

産業に関することで特に重要だと思う項目については、「町内で働く場所や働く機会が増えて、充実していること」が18.3%と最も高く、次いで「魅力的な観光の取組が進んでいること」が14.2%となっている。

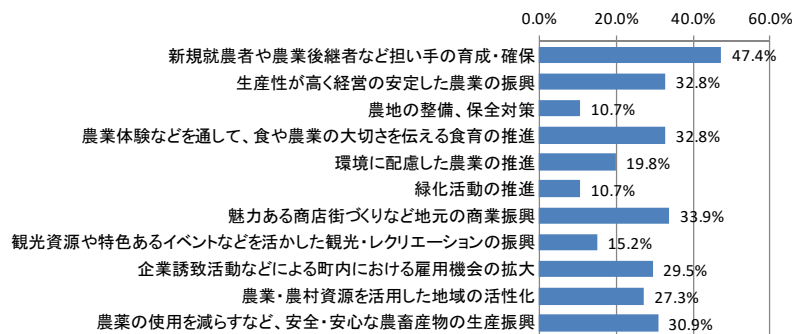
図表Ⅱ-2-18 産業に関すること【特に重要だと思う項目】（複数回答、N=471）



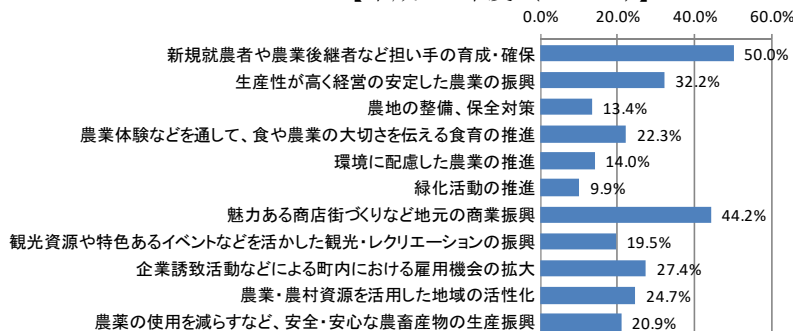
過去実施調査においては、「新規就農者や農業後継者など担い手の育成・確保」「魅力ある商店街づくりなど地元の商業振興」「生産性が高く経営の安定した農業の振興」「農業体験などを通して、食や農業の大切さを伝える食育の推進」などの重要度が高かった。

図表Ⅱ-2-19 産業の振興に関すること【重要度】（過去実施調査の結果）

【平成20年度（N=363）】



【平成26年度（N=292）】



問 11 で「どのように感じているか」を訪ねた設問について「強くそう感じる」を 5 点、「全くそうは感じない」を 1 点とした 5 段階評価として平均値を集計したところ、全体の平均は 3.15 点であった。

最も平均点が高かったのは「(3) ⑦ メロディーホールなど、芸術や文化の活動が活発だと感じますか？」で 3.71 点、最も低かったのは「(1) ⑦ 買い物などの日常生活の環境は整っていると感じますか？」で 2.11 点であった。

図表Ⅱ-2-20 「どのように感じているか」の 5 段階評価（平均値）

(1) 生活や環境に関すること

	件数	合計	平均
①道路や歩道の整備は十分だと感じますか？	457	1522	3.33
②街路灯や防犯灯の整備は十分だと感じますか？	453	1297	2.86
③防犯活動や交通安全運動は活発だと感じますか？	428	1353	3.16
④詐欺などの被害を防ぐため、相談しやすい体制がきちんと整備されていると感じますか？	343	998	2.91
⑤冬の除雪や排雪体制は十分だと感じますか？	463	1657	3.58
⑥子どもの遊び場や公園は、満足できる環境が整っていると感じますか？	419	1435	3.42
⑦買い物などの日常生活の環境は整っていると感じますか？	455	961	2.11
⑧ごみの収集やごみを減らすリサイクルの取り組みは十分だと感じますか？	448	1630	3.64
⑨災害を防いだり、救急のときの体制は万全で安心できると感じますか？	401	1223	3.05
⑩河川の整備の状況は十分だと感じますか？	363	1118	3.08
⑪上水道と下水道の整備や運営は十分だと感じますか？	377	1254	3.33
⑫市街地や郊外は、それぞれ特徴を生かして住みやすい環境になっていると感じますか？	399	1213	3.04
⑬町営の住宅や賃貸アパートの整備の状況は十分だと感じますか？	289	911	3.15
⑭自然環境を守る活動は活発だと感じますか？	361	1163	3.22
⑮道北バスや町営バスなど、公共交通の体制は十分だと感じますか？	418	1052	2.52
⑯インターネット環境は十分だと感じますか？	357	1037	2.90

(2) 健康や福祉に関すること

	件数	合計	平均
①助け合い活動(お互い様づくり)は活発に取り組まれていると感じますか?	353	1142	3.24
②ボランティア活動に参加しやすい環境で、活発に取り組まれていると感じますか?	357	1123	3.15
③安心して出産と子育てができ、子どもが健やかに育つことができる環境だと感じますか?	391	1441	3.69
④医療の環境は安心できると感じますか?	437	1235	2.83
⑤障がいのある方が暮らしやすいまちになっていると感じますか?	349	1121	3.21
⑥病気になるための予防活動や、健康を維持するための活動が活発だと感じますか?	404	1445	3.58
⑦高齢者が生きがいを持って暮らせるまちだと感じますか?	376	1257	3.34
⑧介護が必要な状態にならないための予防活動が活発に行われていると感じますか?	354	1193	3.37
⑨介護が必要な方や介護を担う方が、必要な支援を受けやすい環境だと感じますか?	335	1112	3.32
⑩ひとり親の家庭の方が、暮らしやすいまちだと感じますか?	297	887	2.99
⑪経済的に困りごとがある方が、必要な支援を受けられるまちだと感じますか?	271	829	3.06

(3) 教育や地域活動に関すること

	件数	合計	平均
①子どもたちは学校で良い環境で学んでいると感じますか?	368	1363	3.70
②働いている世代の方が、学ぶ機会や余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか?	383	1042	2.72
③女性が学びや交流を深める機会や、余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか?	355	1050	2.96
④高齢者が学びや交流を深める機会や、余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか?	364	1300	3.57
⑤学校と地域との交流や連携が活発だと感じますか?	353	1165	3.30
⑥公民館の活動が、皆さんの生活に役立って必要なものだと感じますか?	392	1308	3.34
⑦メロディーホールなど、芸術や文化の活動が活発だと感じますか?	433	1606	3.71
⑧国内交流や国外交流の取り組みが活発だと感じますか?	369	1276	3.46
⑨まちづくりに関心を持ち、学びを深める機会や活動が活発だと感じますか?	382	1198	3.14
⑩体育やスポーツに取り組む環境が充実していると感じますか?	404	1427	3.53

(4) 役場の広報活動などに関すること

	件数	合計	平均
①役場が取り組む広報活動(広報、ホームページなど)は充実していると感じますか?	407	1486	3.65
②役場の情報公開への姿勢、取り組みは十分だと感じますか?	378	1283	3.39
③町民がまちづくりに参加しやすい環境だと感じますか?	392	1254	3.20

(5) 産業に関すること

	件数	合計	平均
①新規就農など農林業を担う方たちへの支援は充実していると感じますか?	266	873	3.28
②農地の整備や集積化が進んでいると感じますか?	295	1054	3.57
③安全・安心な食を生産するための農業の取り組みは充実していると感じますか?	316	1085	3.43
④農業を体験したり、食育を学ぶ機会は十分だと感じますか?	336	1081	3.22
⑤商店街や商工業に携わる方が、元気に活発に活動できていると感じますか?	345	960	2.78
⑥魅力的な観光の取組が進んでいると感じますか?	391	840	2.15
⑦農業や商工業が連携して魅力ある商品開発などが進められていると感じますか?	369	933	2.53
⑧町内で働く場所や働く機会が増えて、充実していると感じますか?	378	811	2.15
⑨地元の農産物を購入しやすい環境だと感じますか?	409	1151	2.81

平均点の上位 10 位と、下位 10 位は、図表Ⅱ-2-21 のとおりである。

上位 10 位には「(3) 教育や地域活動に関すること」から 4 項目が該当している。また、下位 10 位には「(5) 産業に関すること」から 5 項目が該当している。

図表Ⅱ-2-21 「どのように感じているか」の 5 段階評価（平均点）、上位 10 位、下位 10 位

上位10位

番号	項目	平均点
(3)⑦	メロディーホールなど、芸術や文化の活動が活発だと感じますか？	3.71
(3)①	子どもたちは学校で良い環境で学んでいると感じますか？	3.70
(2)③	安心して出産と子育てができ、子どもが健やかに育つことができる環境だと感じますか？	3.69
(4)①	役場が取り組む広報活動(広報、ホームページなど)は充実していると感じますか？	3.65
(1)⑧	ごみの収集やごみを減らすリサイクルの取り組みは十分だと感じますか？	3.64
(1)⑤	冬の除雪や排雪体制は十分だと感じますか？	3.58
(2)⑥	病気にならないための予防活動や、健康を維持するための活動が活発だと感じますか？	3.58
(5)②	農地の整備や集積化が進んでいると感じますか？	3.57
(3)④	高齢者が学びや交流を深める機会や、余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか？	3.57
(3)⑩	体育やスポーツに取り組む環境が充実していると感じますか？	3.53

下位10位

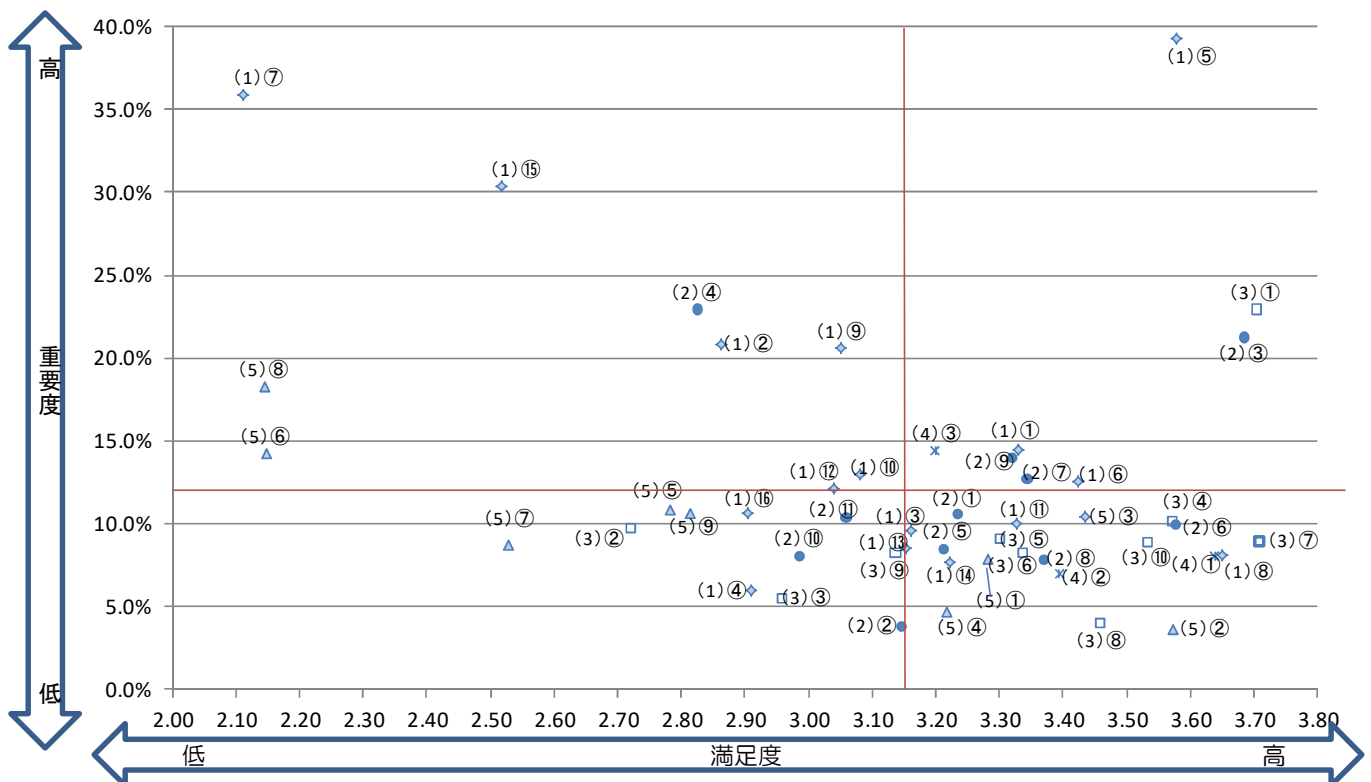
番号	項目	平均点
(1)②	街路灯や防犯灯の整備は十分だと感じますか？	2.86
(2)④	医療の環境は安心できると感じますか？	2.83
(5)⑨	地元の農産物を購入しやすい環境だと感じますか？	2.81
(5)⑤	商店街や商工業に携わる方が、元気に活発に活動できていると感じますか？	2.78
(3)②	働いている世代の方が、学ぶ機会や余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか？	2.72
(5)⑦	農業や商工業が連携して魅力ある商品開発などが進められていると感じますか？	2.53
(1)⑮	道北バスや町営バスなど、公共交通の体制は十分だと感じますか？	2.52
(5)⑥	魅力的な観光の取組が進んでいると感じますか？	2.15
(5)⑧	町内で働く場所や働く機会が増えて、充実していると感じますか？	2.15
(1)⑦	買い物などの日常生活の環境は整っていると感じますか？	2.11

問 11 において、「どのように感じているか」の 5 段階評価（平均点）と、「重要だと思う割合」の関係を見る。

「どのように感じているか」の 5 段階評価の全体平均は 3.15、「特に重要だと思う項目の回答割合」の平均は 12.3%であった。

ここでは「どのように感じているか」を「満足度」、「特に重要だと思う項目の回答割合」を「重要度」と称する。「満足度」「重要度」について、それぞれ全体平均を中心とした 4 象限に整理したものが図表 II-2-22 である。

図表 II-2-22 「満足度」と「重要度」の関係



「満足度」「重要度」ともに平均以上だったのは、図表Ⅱ-2-23 のとおりである。「(3) ① 子どもたちは学校で良い環境で学んでいると感じますか？」(満足度 3.70、重要度 22.9%)、「(1) ⑤ 冬の除雪や排雪体制は十分だと感じますか？」(満足度 3.58、重要度 39.3%)などで、満足度、重要度ともに高い値となっている。

図表Ⅱ-2-23 「満足度」「重要度」ともに平均以上

番号	項目	満足度	重要度
(3)①	子どもたちは学校で良い環境で学んでいると感じますか？	3.70	22.9%
(2)③	安心して出産と子育てができ、子どもが健やかに育つことができる環境だと感じますか？	3.69	21.2%
(1)⑤	冬の除雪や排雪体制は十分だと感じますか？	3.58	39.3%
(1)⑥	子どもの遊び場や公園は、満足できる環境が整っていると感じますか？	3.42	12.5%
(2)⑦	高齢者が生きがいを持って暮らせるまちだと感じますか？	3.34	12.7%
(1)①	道路や歩道の整備は十分だと感じますか？	3.33	14.4%
(2)⑨	介護が必要な方や介護を担う方が、必要な支援を受けやすい環境だと感じますか？	3.32	14.0%
(4)③	町民がまちづくりに参加しやすい環境だと感じますか？	3.20	14.4%

「満足度」が平均以上で、「重要度」が平均未満だったのは、図表Ⅱ-2-24 のとおりである。「(5) ② 農地の整備や集積化が進んでいると感じますか？」では、「重要度」が 3.6%と低い値となっている。

図表Ⅱ-2-24 「満足度」が平均以上、「重要度」が平均未満

番号	項目	満足度	重要度
(3)⑦	メロディーホールなど、芸術や文化の活動が活発だと感じますか？	3.71	8.9%
(4)①	役場が取り組む広報活動(広報、ホームページなど)は充実していると感じますか？	3.65	8.1%
(1)⑧	ごみの収集やごみを減らすリサイクルの取り組みは十分だと感じますか？	3.64	8.1%
(2)⑥	病気にならないための予防活動や、健康を維持するための活動が活発だと感じますか？	3.58	10.0%
(5)②	農地の整備や集積化が進んでいると感じますか？	3.57	3.6%
(3)④	高齢者が学びや交流を深める機会や、余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか？	3.57	10.2%
(3)⑩	体育やスポーツに取り組む環境が充実していると感じますか？	3.53	8.9%
(3)⑧	国内交流や国外交流の取り組みが活発だと感じますか？	3.46	4.0%
(5)③	安全・安心な食を生産するための農業の取り組みは充実していると感じますか？	3.43	10.4%
(4)②	役場の情報公開への姿勢、取り組みは十分だと感じますか？	3.39	7.0%
(2)⑧	介護が必要な状態にならないための予防活動が活発に行われていると感じますか？	3.37	7.9%
(3)⑥	公民館の活動が、皆さんの生活に役立って必要なものだと感じますか？	3.34	8.3%
(1)⑪	上水道と下水道の整備や運営は十分だと感じますか？	3.33	10.0%
(3)⑤	学校と地域との交流や連携が活発だと感じますか？	3.30	9.1%
(5)①	新規就農など農林業を担う方たちへの支援は充実していると感じますか？	3.28	7.9%
(2)①	助け合い活動(お互い様づくり)は活発に取り組まれていると感じますか？	3.24	10.6%
(1)⑭	自然環境を守る活動は活発だと感じますか？	3.22	7.6%
(5)④	農業を体験したり、食育を学ぶ機会は十分だと感じますか？	3.22	4.7%
(2)⑤	障がいのある方が暮らしやすいまちになっていると感じますか？	3.21	8.5%
(1)③	防犯活動や交通安全運動は活発だと感じますか？	3.16	9.6%
(1)⑬	町営の住宅や賃貸アパートの整備の状況は十分だと感じますか？	3.15	8.5%
(2)②	ボランティア活動に参加しやすい環境で、活発に取り組まれていると感じますか？	3.15	3.8%

「満足度」が平均未満で、「重要度」が平均以上だったのは、図表Ⅱ-2-25 のとおりである。この中で「(1) ⑦ 買い物などの日常生活の環境は整っていると感じますか?」は、「満足度」が最も低く (2.11)、「重要度」が最も高い値 (35.9%) となっている。

図表Ⅱ-2-25 「満足度」が平均未満、「重要度」が平均以上

番号	項目	満足度	重要度
(1)⑩	河川の整備の状況は十分だと感じますか?	3.08	13.0%
(1)⑨	災害を防いだり、救急のときの体制は万全で安心できると感じますか?	3.05	20.6%
(1)②	街路灯や防犯灯の整備は十分だと感じますか?	2.86	20.8%
(2)④	医療の環境は安心できると感じますか?	2.83	22.9%
(1)⑮	道北バスや町営バスなど、公共交通の体制は十分だと感じますか?	2.52	30.4%
(5)⑥	魅力的な観光の取組が進んでいると感じますか?	2.15	14.2%
(5)⑧	町内で働く場所や働く機会が増えて、充実していると感じますか?	2.15	18.3%
(1)⑦	買い物などの日常生活の環境は整っていると感じますか?	2.11	35.9%

「満足度」「重要度」ともに平均未満だったのは、図表Ⅱ-2-26 のとおりである。この中で、「満足度」が最も低いのは「(5) ⑦ 農業や商工業が連携して魅力ある商品開発などが進められていると感じますか?」(2.53) であり、「重要度」が最も低いのは「(3) ③ 女性が学びや交流を深める機会や、余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか?」(5.5%) であった。

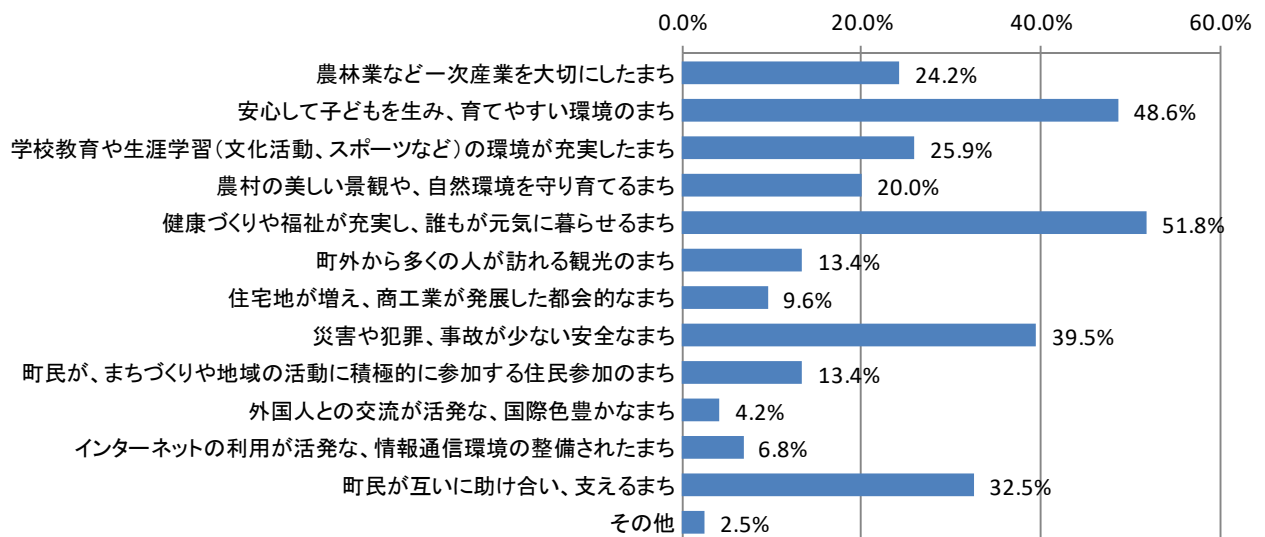
図表Ⅱ-2-26 「満足度」「重要度」ともに平均未満

番号	項目	満足度	重要度
(3)⑨	まちづくりに関心を持ち、学びを深める機会や活動が活発だと感じますか?	3.14	8.3%
(2)⑪	経済的に困りごとがある方が、必要な支援を受けられるまちだと感じますか?	3.06	10.4%
(1)⑫	市街地や郊外は、それぞれ特徴を生かして住みやすい環境になっていると感じますか?	3.04	12.1%
(2)⑩	ひとり親の家庭の方が、暮らしやすいまちだと感じますか?	2.99	8.1%
(3)③	女性が学びや交流を深める機会や、余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか?	2.96	5.5%
(1)④	詐欺などの被害を防ぐため、相談しやすい体制がきちんと整備されていると感じますか?	2.91	5.9%
(1)⑯	インターネット環境は十分だと感じますか?	2.90	10.6%
(5)⑨	地元の農産物を購入しやすい環境だと感じますか?	2.81	10.6%
(5)⑤	商店街や商工業に携わる方が、元気に活発に活動できていると感じますか?	2.78	10.8%
(3)②	働いている世代の方が、学ぶ機会や余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか?	2.72	9.8%
(5)⑦	農業や商工業が連携して魅力ある商品開発などが進められていると感じますか?	2.53	8.7%

## 問12 10年後の鷹栖町がどのようなまちになってほしいか

10年後の鷹栖町が、どのようなまちになってほしいかをたずねたところ、「健康づくりや福祉が充実し、誰もが元気に暮らせるまち」が51.8%と最も高く、次いで「安心して子どもを産み、育てやすい環境のまち」が48.6%、「災害や犯罪、事故が少ない安全なまち」が39.5%、「町民が互いに助け合い、支えるまち」が32.5%となっている。

図表Ⅱ-2-27 10年後の鷹栖町がどのようなまちになってほしいか（複数回答、N=471）



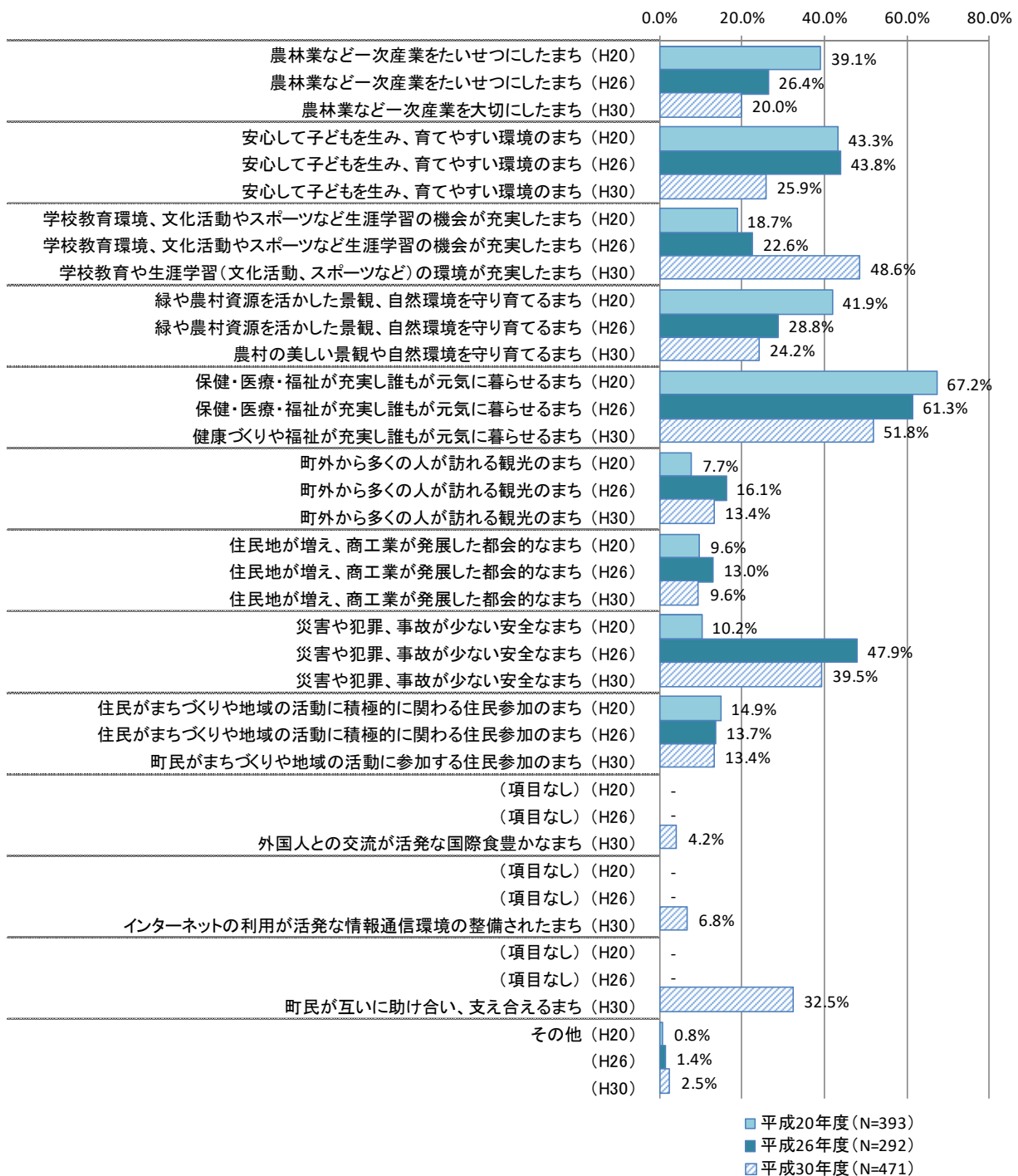


過去実施調査の結果と比較する。設問項目が異なるものもあるため、厳密な比較結果ではないものの、「農林業など一次産業を大切にしまち」「農村の美しい景観や自然環境を守り育てるまち」「健康づくりや福祉が充実し誰もが元気に暮らせるまち」などの項目では、過去から徐々に割合が低くなっている。

「学校教育や生涯学習（文化活動、スポーツなど）の環境が充実したまち」については、過去から徐々に割合が高くなっている。

図表Ⅱ-2-28 過去実施調査との比較

10年後の鷹栖町がどのようなまちになってほしいか（複数回答）



### 問13 鷹栖町のまち（まちづくり）について良いと思っているところ（自由記入）

鷹栖町のまち（まちづくり）について良いと思っているところについて自由に記入してもらったところ、主な意見は次のようであった。

カテゴリ	主な意見
子育て・教育など子どもに関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の一時保育や支援センターなどの取組は素晴らしい。（女性、30歳代）</li> <li>・ 子どもが学童へ行ってずっと助かっている。ただ、保育園の時の病気の預かり保育がいまいち利用しづかったことが働いていた時の不満だったので、そこを充実して住みやすい、子育てしやすいまちにしてほしい。（女性、30歳代）</li> <li>・ 手厚い子育ての支援はとても助かる。医療費の助成、保育園入園のしやすさ、健診等での悩みや相談事の話しやすさ。（女性、30歳代）</li> <li>・ 子どもの医療費助成は続けてほしい。（女性、30歳代）</li> <li>・ 医療費中学まで無料、出生届けで箸などの記念品、保育料の町独自の減額制度、妊婦の歯科健診助成、ランドセル支給。（男性、30歳代）</li> <li>・ この町の良いところは、お年寄りが若者を叱ってくれるところ。「子は宝」とわが孫のように愛情をもって接してくれ、“子どもたちが人生を楽しんでいる大人たちを見て育てば「自分も大人になりたい」と思って育つから、親たちも楽しみを持って生活をしたらいい”と親世代にもいろいろ教えてくださる。（女性、40歳代）</li> <li>・ 子どもたちがとても素直でまっすぐ育っていると思う。（女性、40歳代）</li> </ul>
まちの行事やイベントなどに関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏の鷹栖町のお祭りはとてもよい取組だと思う。マラソン大会もとてもよい取組で、10年後20年後にも残していけるとよいと思う。（女性、30歳代）</li> <li>・ 各地区が各々、公民館を中心に地域行事を実施しているところ、5地区各々で盆踊りや文化祭を実施している町は他にないと思う。人口減少になることは目に見えた事実だが、数は少なくなっても、各地域が元気であり続けられる地域行事は残してほしい。（女性、30歳代）</li> <li>・ 熱夏フェスタは、鷹栖町以外の人もたくさん来るので、とてもいいと思う。私の職場の人たちも花火を見たいという人がたくさんいた。（女性、20歳代）</li> <li>・ 色々なイベントがあり、楽しい（全部に参加しているわけではないが）。（女性、30歳代）</li> <li>・ 子供会の花火。（女性、50歳代）</li> </ul>
学習や学びの機会に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鷹栖町は教室が多くて学びに充実していると思う。（女性、30歳代）</li> <li>・ 講演が多数あること。（男性、20歳代）</li> <li>・ 体育館、メロディーホール等は充実していますが、町民の利用度や町外の利用度を考えて維持費、管理費含めて色々な建物が必要なのか今後人口が減っていく中で維持していけるのかと思う。（男性、40歳代）</li> <li>・ 道立鷹栖高校生の介護職員初任者研修講座は、福祉への入り口として今後も続けてほしい。また、一般住民も一緒に受講できないか検討し、町内の福祉事業所の人材確保を考えてはどうか。（女性、60～64歳）</li> </ul>
健康づくりや介護予防に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10年後、20年後にも、がんなどの検診を誰でも（町民）全ての人が気軽に受けられるように残した方がよいと思う。（女性、30歳代）</li> <li>・ 健康づくりや福祉の充実（子供の医療の無用化支援）（男性、70～74歳）</li> <li>・ スポーツが盛んにおこなわれていて、良いと思う。体を動かすことは老若男女問わず大切なことなので、これからも続けてもらえるとよいと思う。（男性、20歳代）</li> <li>・ あったかすりハビリ体操は、たかす独自の介護予防体操で、ボランティアの指</li> </ul>

	<p>導者養成などの取組で、今以上の普及を期待する。(女性、60～64歳)</p>
<p>自然環境や景観に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の豊かさ、いわゆる田舎の人間関係を大切にしてほしい。(女性、20歳代)</li> <li>・パレットヒルズの桜の木への取組は、素晴らしいと思う。桜の木も増え、旭川の友人とお花見をこの春した。環境の整備も整ってきた。近くにはパークゴルフ場もあり、楽しめる場でもある。(女性、50歳代)</li> <li>・この町の景色ののどかさ、町の人達の人柄(あたたかさ)等々を気に入り、移住してきた。無理かな、とは思いますが変わらずほっとする町であってほしい。(女性、40歳代)</li> <li>・道外から移住してきた者からすると、なにもないのが良いところでもあり、悪いところでもあると感じています。高いビルや人混みが無く、美しい田園風景は鷹栖の最大の魅力だと思います。(女性、40歳代)</li> <li>・美しい景観は更に育てていった方が良いと思う。(女性、50歳代)</li> <li>・自然環境を維持してほしい。(男性、50歳代)</li> </ul>
<p>除雪に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪を毎年きれいにしていただき助かっている。通学にちょうど良い時間で、ちょうどよいバス停に止まるバスが通っていてよかった。(女性、20歳代)</li> <li>・除雪が行き届いていてよいと思う。鷹栖から旭川に出勤するので、特にそう思う(旭川はひどいので)。(女性、40歳代)</li> <li>・除排雪が行き届いていてありがたい。今まで他の自治体に暮らすことがあったが、こんなに熱心な自治体はない。本当にありがたい。(女性、30歳代)</li> </ul>
<p>交流・人間関係、まちづくりへの参加に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場の人や町民の顔と名前が一致していて、気軽に声掛けしてくれたりすることはとてもよい。(女性、30歳代)</li> <li>・まちづくりに対して町民の意見を聞く姿勢が伝わる(良い方向に変えてくれそう)。(女性、40歳代)</li> <li>・自分は50代でまだ町外で働いているが、交流を深める場所や余暇活動を楽しむ環境は充実してほしい。(女性、50歳代)</li> <li>・10年・20年後も鷹栖町らしい老若男女の交流が活発な町であってほしい。(男性、20歳代)</li> </ul>
<p>農業や農産品に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の農作物を商品化していてよいと思う。(女性、30歳代)</li> <li>・田んぼの拡張は農家をもっと盛んになるのではと思う。(女性、30歳代)</li> <li>・オオカミの桃 ・自然環境 ・一次産業 (男性、40歳代)</li> <li>・鷹栖町の農業など、担い手は少なくなっている状況だが、新しい世代に引き継がれていければ良い。(女性、30歳代)</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が広いところ。(女性、20歳代)</li> <li>・老人にとってはとても住みよいまちだと思う。今後は、家族と暮らしていても若い世代の人々が仕事のため、一緒に暮らしていても半ばひとり暮らしのような状態の高齢者にも、もう少し楽しみを味わえるまちにしてほしいと思う。(女性、50歳代)</li> <li>・町が主体的に活動していることは今後も続け、町や社協のサポートをこれまで通り行ってほしい。ただ、リーダーとなる人が高齢の方が多いので、若い人が参加できるシステムづくりが必要と思う。(女性、50歳代)</li> <li>・おいしく新鮮な食べ物がたくさんあるが、町民しか知らないものもある。もっとPRしたらよい。(女性、40歳代)</li> <li>・空き家率を減らすと同時に、徒歩で買い物に行ける環境であってほしい。そのために、企業誘致や起業への支援。空き家の働く世代への橋渡しなどチカラを入れ、人の交流が今以上に盛んになってほしい。(男性、40歳代)</li> <li>・凶書の充実をすすめている事。(女性、40歳代)</li> </ul>

#### 問14 鷹栖町のまち（まちづくり）について不安や心配に感じること（自由記入）

鷹栖町のまち（まちづくり）について不安や心配に感じていることについて自由に記入してもらったところ、主な意見は次のようであった。

カテゴリ	主な意見
公共交通機関や交通手段に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの本数が少ない。(男性、30歳代)</li> <li>・バスの本数を増やす、高齢者のタクシーを安くするなど対策をとってほしい。近年、認知症などで運転の事故が多いので、積極的に免許の返還などをし、高齢者による事故や事件を減らしてほしいと切に思う。(女性、30歳代)</li> <li>・車が運転できるうちはよいが、できなくなった場合買い物や用足しが不便。町のシステムで、町バスで週1回旭川市内に買い物へ連れて行ってくれるなどがあるとありがたい。(女性、30歳代)</li> <li>・乗り合いタクシーがあれば利用したい。(女性、70～74歳)</li> <li>・今後、車の免許を失ったときには、住むのは無理だと思う。バスも少なく、出かけるにも車を使えないときは困っている。できることなら、町バスで旭川の一番近いところまででよいので、定期バスが出ていると助かる。(女性、50歳代)</li> <li>・バス代が高すぎる。北野と鷹栖でも差が大きい。せめて町内は一律にしたり、補助があるといい。学生はバスに乗るしかない。(女性、40歳代)</li> </ul>
買い物、お店に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内で買い物ができる店を増やす。(女性、60～64歳)</li> <li>・買い物する店が全然なくて困る。もっと東川町のように発展してほしい。メインストリートにも何もない。(女性、30歳代)</li> <li>・近くの商店がどんどんなくなり、自分も遠くに買い物に行けなくなるので不安。(男性、40歳代)</li> <li>・鷹栖町市街地での買い物が不安。スーパーなどがあると助かる。(女性、20歳代)</li> <li>・買い物で困っている。コンビニくらいしかなく、結局旭川まで車で買い物に出かけなくてはならない。(女性、50歳代)</li> <li>・とにかく買い物が困る。旭川の大きなスーパーへ買い出しに行ったり、配達を利用しているが、急に必要になったときは本当に困る。(女性、40歳代)</li> <li>・高齢になったときに買い物する店が少ない。(女性、30歳代)</li> <li>・スーパーやガソリンスタンド等の日常必需品が町内でまかなえる町づくり。(男性、40歳代)</li> <li>・商店が閉店する等、買い物難民が多くなるのではと考える。買う楽しみもあるので、配達ではなく移動販売で商品を選択できるシステムが必要だと思う。デイサービスの帰りに買い物できる等、現在のサービスに+αといった町の単独サービスを検討してほしい。バスではなく、個人対応できるシステムを。(女性、60～64歳)</li> </ul>
医療や健康づくりに関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院が少ない。(男性、30歳代)</li> <li>・医療面でのサポート体制が不足しているかと思う。(女性、50歳代)</li> <li>・福祉に興味があり、健康（体操）教室に参加したいが、高齢者限定だったり、平日の昼にやっていて参加できない。(女性、18～19歳)</li> </ul>
道路に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メイン道路の街灯は充実しているが、中通りの街灯の距離があり、夜の道がとても暗いと感じる。(女性、30歳代)</li> <li>・冬道の道路の防風。(女性、60～64歳)</li> <li>・道路の排水の整備をしてほしい（排水溝が機能していない）(女性、60～64歳)</li> </ul>

<p>子育てや子どもの教育に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育の枠を増やしたり、鷹栖保育園だけではなく北野でも実施すべきだと思う。働くところが増える一方で、預け先がないのは非常に困るし、ここを充実させないと安心して子どもを産める環境にはつながらないと感じる。(女性、30歳代)</li> <li>・保育園の入園を生後4か月からではなく3か月に早めてほしい。4月1日時点で1歳入園は可能だと、2歳になるまで入れないので、その時点での年齢にしてほしい。子どもの手続きなどで必要な役場で取り寄せる書類(住民票など)は、無料にしてほしい。全体の書類の費用をもう少し安くしてほしい。(男性、30歳代)</li> <li>・保育園の運営に改善の必要性を感じる。保育の内容や計画が子に合ったもの、それぞれの可能性を引き出すものになっていない。臨時の職員が多すぎる。毎日活動内容がほぼ同じ、他の地域との質の差を感じるが、多くはないが安心して子どもをお願いできている職員もいる。(男性、30歳代)</li> <li>・高齢の方にはとてもたくさんの支援、新しいサービスがあるが、子ども、若い方のサポートが不足している点もある。お母さんへ居場所づくりや仕事の場がない等、商業や産業への充実が必要なことと結びつくのではないだろうか。(女性、50歳代)</li> <li>・どんどん子どもが減っているのが心配。鷹栖地区にはベビーがいなく、子どもの同級生が少ない。北野地区の人ばかり。鷹栖地区にも人を増やしてほしい(宅地造成など)。(女性、30歳代)</li> <li>・少子高齢化が進んでいる。子どもの激減。子育て世代が増える取組をもっとしないと小学校、中学校に子どもがいなくなる。(女性、40歳代)</li> <li>・子供達が冬場公園等で遊べないので、屋内で遊べたり勉強する所があっても良いのではないか。(女性、50歳代)</li> </ul>
<p>仕事や働く場に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安に感じることは、働く場所が少ないこと。旭川まで行かなくても町民も働けられる環境を用意してほしい。(女性、30歳代)</li> <li>・町内に働く場所を増やしたほうがよい。役場など臨時的なものではなく、長く勤めることができる場を。パレットヒルズや道の駅のような施設で町民を使っていくことができるなど。また、町内の商工業社が安定していくための考え方で、鷹栖町の町民であれば商売をしやすいとかのメリットがあるとよい。旭川の業者を使うようでは、町内が潤うことがない。(男性、50歳代)</li> <li>・高齢者施設入所者ができる仕事や役割を与える場や機会があるとよかったと思う。単なるお手伝いだけではなく、能力に合わせて仕事を与え、お小遣い稼ぎができると、楽しみや張り合いが施設での生活にあるのではと思っている。いろいろな問題や規制はあると思うが。(女性、50歳代)</li> <li>・子どもたちが進学、就職等でまちを離れていくことは避けようのない現実でもあると思う。企業への誘致等、自然環境をあまり壊さない範囲でできたらと考える。(女性、50歳代)</li> <li>・引きこもり等の方もいることから、どんな人でも地域の中で何かの役に立てるような仕組みづくりをすることで安心が生まれるのでは。(女性、50歳代)</li> </ul>
<p>町民の交流、まちづくりへの参加に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが減り、高齢者が増えること、隣同士がわからず誰か住んでいるのかわからないこと。ただし、互いが知り合いになり、お互い様の気持ちの地域が増えれば不安にはならないとは思っている。(女性、30歳代)</li> <li>・町内会があまり機能をしていない。共働きの人が多いのでPTAや町内会、公民館活動などの人手(なり手)が不足しているのではないかと。若手を育成していくことが困難。(男性、50歳代)</li> <li>・町内会の行事に参加しづらいのでだんだん他人事になっている。もう少し他町村から入ってきた方は何事にも参加して手伝ってほしい。町内会で高齢者が多く、沿道の花壇等つくっていけないと思う。(女性、70~74歳)</li> </ul>

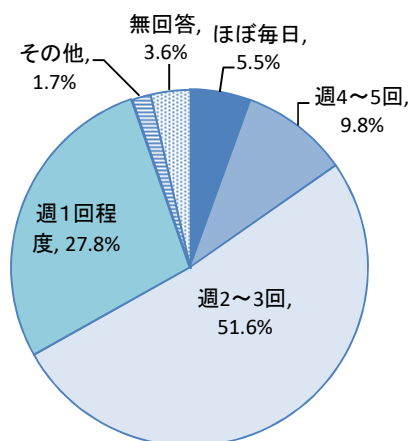
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障害のある方の一人暮らし世帯が多く、町内会活動をしようにも班長業務自体がままならない人も多い。暗黙の了解のまま一部住民だけが負担を負う仕組みになってしまっている。(女性、30歳代)</li> </ul>
農業やその他産業に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家が減っていくのをもう少し真剣に考えてほしい。(女性、30歳代)</li> <li>・土地の縛りが強く、商業が発展しない要因になっていると思う。使用されていない農地は、もっと有効に活用すべき。今のままでは、土地ばかりがあっても使い道がなくて、町がさびれてしまうと思う。東川町はカフェなどもたくさんできて人が集まっていると聞くので、もっと土地の活用を本気で考えるべき。(女性、40歳代)</li> <li>・カフェを開きたい人が多いのに住宅地にオープンできない。東川のように住む人も外の人も楽しめる町になってほしい。(女性、40歳代)</li> <li>・農業者の就労者の年齢も高く基幹産業の衰退や人口の流出。(男性、40歳代)</li> <li>・素敵な農産物、特産物があるのに活かさきれていない。鷹栖といえばこれ！といったような施設や各所の開発やアピールを進め、それを同時進行で農産物、特産物も推していけばよいのではないか。(男性、20歳代)</li> <li>・6次産業を推進し、自然と農業を生かし後継者と観光客を増やし、活気のある町になってほしい。東川町がいい例だがもう少し自然体でいい。(男性、50歳代)</li> </ul>
町民の交流の場に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも気軽に立ち寄って、一休みできる場所、中高生が友達と待ち合わせして勉強したり、おしゃべりしたりできる場所が、各地区にあるとよい。(女性、30歳代)</li> <li>・子供達が冬場公園等で遊べないので、屋内で遊べたり勉強する所があっても良いのではないか。(女性、50歳代)</li> <li>・パン屋や食事処など、誘致してほしい。(女性、40歳代)</li> </ul>
住まいに関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸しアパートの家賃をもう少し下げてほしい(町で助成など)。(男性、30歳代)</li> <li>・老後、持ち家を管理し続けていく金銭的、体力的な余裕がないのではと不安。(女性、40歳代)</li> <li>・高齢者用のエレベーターがついた町営住宅があってもよいと思う。(男性、70～74歳)</li> <li>・郊外が特に空き家が多い。鷹栖町に住みたいという人がいたが、土地の所有者がわからない。空き地に見えて、実は農地で家も建てられないなど、住むための土地改革が必要だと思う(特に住宅地以外のところ)。(男性、30歳代)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー、個人情報保護への考えが、軽視されている。家庭ごみに記名、ゴミステーションに掃除担当者として名前を貼る。(女性、30歳代)</li> <li>・少子高齢化と人口の流出(旭川や札幌などへ)。(女性、20歳代)</li> <li>・まだまだ知られていないことも多いと思うので、鷹栖町のブランドアップを。(男性、20歳代)</li> <li>・雪の除排雪をもう少しこまめにやって頂かないときっとこれから更に雪深い町になったとき、住みづらいついてしまう。住宅街の道路ももっと除雪して欲しい。(男性、30歳代)</li> <li>・町が一番大切にしていることはなにか、それをどう守るのか、それをどう町の魅力としてブランディングするのかが今の鷹栖から見えてこない。あれもある、これもある、となんでもかんでもアピールしているように感じる。統一性がないし、鷹栖といえばこれ、というものが無い。(女性、40歳代)</li> <li>・リサイクルするのはいいが、毎回どんどん細かくなり、いい加減にしろと言いたくなる。燃やせないゴミのシールまで買ってお茶わん一個欠けたのを入れ、次に何を入れる？それが捨てる頃には、又内容が変わっているのでは？(女性、50歳代)</li> </ul>

### 3 普段の買い物について

#### 問15 普段、買い物に出かける回数

普段、買い物に出かける回数については「週2～3回」が51.6%と最も高く、次いで「週1回程度」が27.8%、「週4～5回」が9.8%となっている。

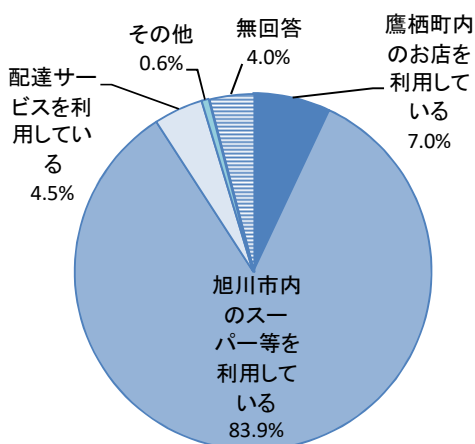
図表Ⅱ-3-1 普段、買い物に出かける回数 (N=471)



#### 問16 普段の買い物（食料品・日用品）で、最も利用する店

普段の買い物（食料品・日用品）で最も利用する店については、「旭川市内のスーパー等を利用している」が83.9%と最も高く、次いで「鷹栖町内のお店を利用している」が7.0%、「配達サービスを利用している」が4.5%となっている。

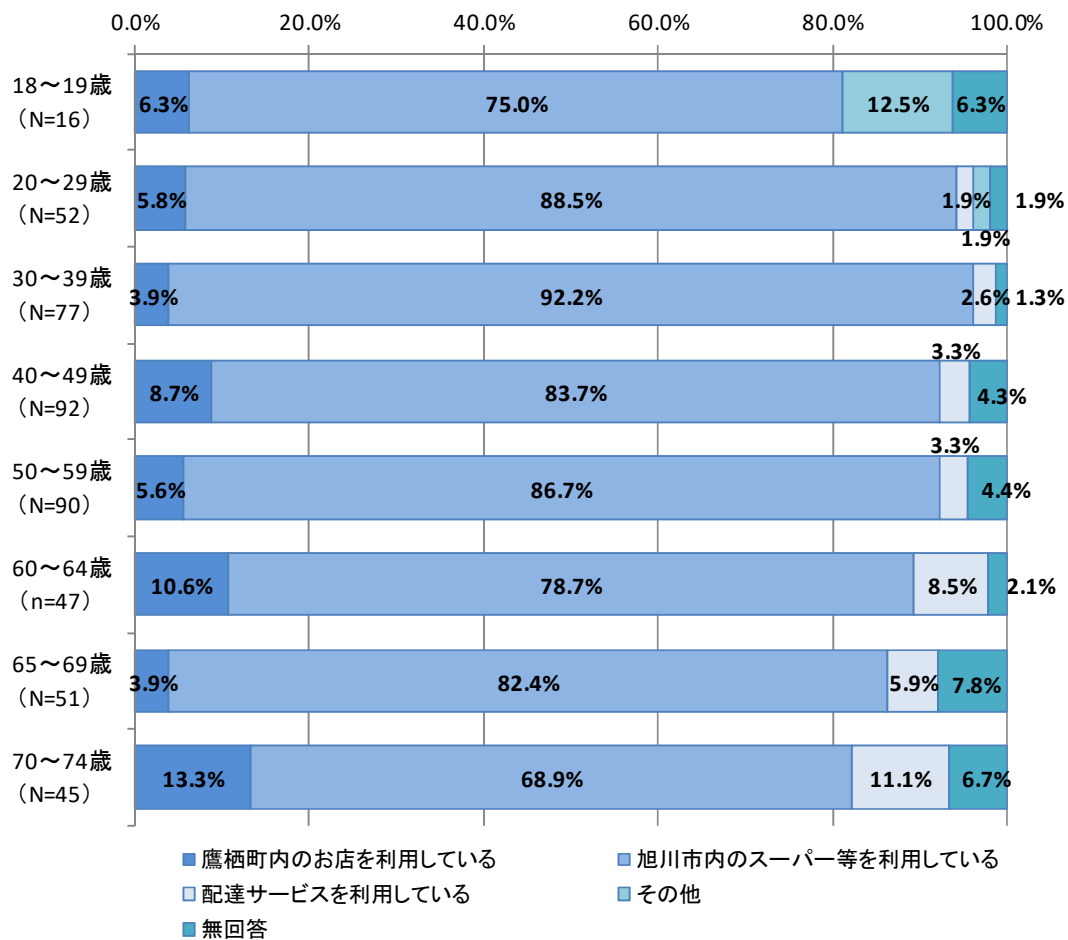
図表Ⅱ-3-2 普段の買い物（食料品・日用品）で、最も利用する店 (N=471)



普段の買い物（食料品・日用品）で最も利用する店について年齢別にみると、「70～74歳」では「旭川市内のスーパー等を利用している」が68.9%と、他の年齢と比べて割合が低くなっている。

「60～64歳」「70～74歳」では「鷹栖町のお店を利用している」がそれぞれ10.6%、13.3%、「配達サービスを利用している」がそれぞれ8.5%、11.1%と、他の年齢と比べて割合が高くなっている。

図表Ⅱ-3-3 普段の買い物（食料品・日用品）で、最も利用する店（年齢別）

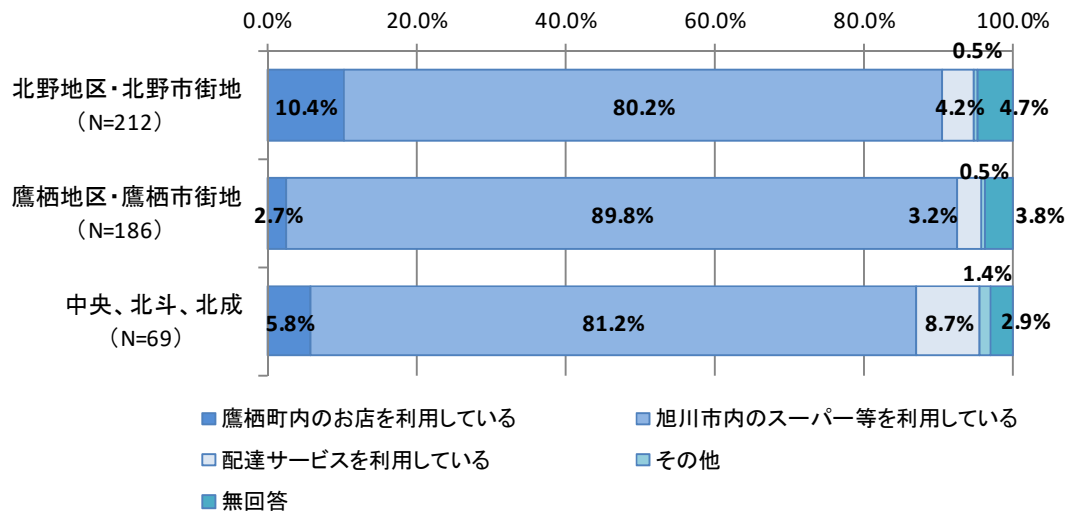




普段の買い物（食料品・日用品）で最も利用する店について居住地区別にみると、「北野地区・北野市街地」では「鷹栖町内のお店を利用している」が10.4%と、他の地区と比べて割合が高くなっている。

「中央、北斗、北成」では「配達サービスを利用している」が8.7%と、他の地区と比べて割合が高くなっている。

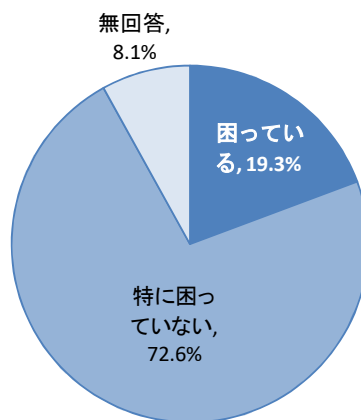
図表Ⅱ-3-4 普段の買い物（食料品・日用品）で、最も利用する店（年齢別）



### 問17 普段の買い物（食料品・日用品）で、困っていることや不便に感じていること

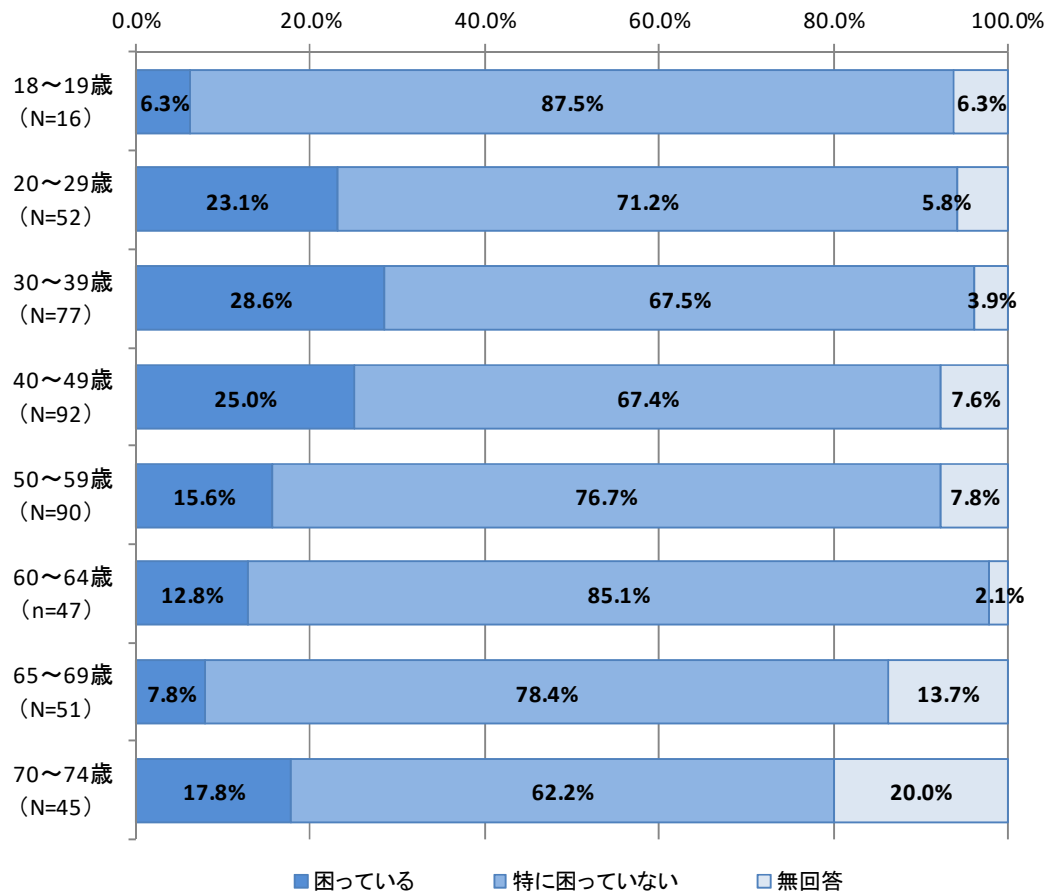
普段の買い物（食料品・日用品）で、困っていることや不便に感じていることについては、「特に困っていない」が72.6%、「困っている」が19.3%となっている。

図表Ⅱ-3-5 普段の買い物（食料品・日用品）で、困っていることや不便に感じていること (N=471)



普段の買い物（食料品・日用品）で、困っていることや不便に感じていることについて年齢別にみると、「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」で「困っている」がそれぞれ23.1%、28.6%、25.0%と2割を超えており、他の年齢と比べて割合が高くなっている。

図表Ⅱ-3-6 普段の買い物（食料品・日用品）で、困っていることや不便に感じていること  
（年齢別）



「困っている」と回答した 91 人に、困っていることについて具体的に記入してもらったところ、主な意見は、次の通りである。

カテゴリ	主な意見
スーパーやドラッグストアなどがない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くにスーパーやドラッグストアがないので、買い忘れたものをすぐ買いに行くことができない。(男性、30 歳代)</li> <li>・徒歩で行けるスーパーがない。(女性、65～69 歳)</li> <li>・遠くて不便。(男性、30 歳代)</li> <li>・子どもにお遣いで活かせるお店が近くにない。ちょっと足りないものが買えない(わざわざ車を出してまで買う必要のないもの等)。(女性、30 歳代)</li> <li>・ちょっとの買い物でも北野まで行かないと買い物できない。車を出すので、結局は旭川まで出ることが多い。(女性、30 歳代)</li> <li>・鷹栖地区にもスーパーが欲しい。(女性、20 歳代)</li> <li>・ちょっとした物でも旭川まで行かないと買えないのがとても不便。(女性、40 歳代)</li> <li>・お店が少なすぎるので旭川へ行くため、車がないと買い物に不便。(女性、40 歳代)</li> <li>・スーパーがない、衣料品店もない。(女性、50 歳代)</li> <li>・ドラッグストアがないこと、鷹栖地区にはスーパーマーケットがないこと。(男性、20 歳代)</li> <li>・おむつ等は市内まで行かないと買えない。北野のマルシェのような店が鷹栖地区にも必要。(女性、30 歳代)</li> <li>・車の運転ができないので、近くに商店がないので困る。(女性、65～69 歳)</li> <li>・目で見て買いたい。(女性、70～74 歳)</li> <li>・高齢者の買い物できる店が町内に無い(北野地区で鷹栖地区以外で生活用品を買える店が無いと思われる)。(男性、40 歳代)</li> </ul>
価格が高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の価格が高くて、市内に買い物へ行くことが多いが、薬品などを買える場所が市内まで行かないとなく、急な熱など必要な時に困る。(女性、30 歳代)</li> <li>・鷹栖町内のスーパーは割高なので安くしてほしい。(女性、30 歳代)</li> <li>・旭川市内の価格にはかなわないので、どうしても近くで買物をする機会がない。(男性、40 歳代)</li> <li>・鷹栖町のスーパーは高い。1つしかないのに高いので旭川へ。安くして旭川からも来るような価格になるとよい。(男性、30 歳代)</li> <li>・すぐそばにスーパーがない。コンビニはあるが、定価販売なのでやはり少しでも安いスーパーがあると良い。(女性、50 歳代)</li> </ul>
品揃えが良くない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の店だけでは買い物(食料品・日用品)の選択肢が少ない。(男性、70～74 歳)</li> <li>・店舗数、商品数が少ないため、町で購入することができない。(野菜等の鮮度も悪く購入に至らない) (女性、30 歳代)</li> <li>・町内の店をはしごしても売っていない商品があるため、旭川へ行くことがある。(男性、50 歳代)</li> <li>・品種が少なく、旭川に行かなければ手に入らないものもある。(女性、50 歳代)</li> <li>・スーパーがないこと。町内の店では品物が少なく、自分の欲しいものがないことが多い。(女性、70～74 歳)</li> <li>・食料品を購入しようとする鷹栖町内では購入したいものが少ないため、結局車で買い出しへ旭川へ出てしまう。(女性、30 歳代)</li> <li>・町で何でも買える店があれば(安い買い物ができる)市内に行くことはない。(男性、70～74 歳)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肉や調味料を買える店舗が近くにない。日用品は町内で買えない。今は車を運転できるので大丈夫だが、時々不便に思う。旭川に出ると往復 30 分くらいかかるので。(女性、30 歳代)</li> <li>・生鮮食品を多く扱っている店が近くになくなった。(女性、60～64 歳)</li> <li>・新鮮な魚介が近くで入手できない。(肉を食べられない為)(女性、40 歳代)</li> </ul>
閉店時間が早い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事が終わってからの買い物が鷹栖町でできない(閉店時間が早い)ため、旭川まで行き、全て済ませてしまう。(女性、50 歳代)</li> <li>・町内の店を利用しようと思っても締まっていることがある。(男性、50 歳代)</li> </ul>
買い物に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが食べ盛りで、1 回の買い物の量も多く、買い物に行くのが時間がかかり大変。(女性、30 歳代)</li> <li>・急に必要になったものが買えない、旭川まで買いに行く時間がない。(女性、40 歳代)</li> <li>・今は車を運転できるので大丈夫だが、時々不便に思う。旭川に出ると往復 30 分くらいかかるので。(女性、30 歳代)</li> <li>・結局旭川まで出て行かないと欲しいものが揃わない。遠い。(男性、50 歳代)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店を選べない。(女性、60～64 歳)</li> <li>・将来のことを考えると不安である。(男性、40 歳代)</li> <li>・免許があるうちはいいが、その後を考えると不安。(男性、70～74 歳)</li> <li>・店にあまり行けないので、品物を見て買うことができない。(男性、70～74 歳)</li> <li>・1 人では行けない。(女性、60～64 歳)</li> </ul>

## 4 まちづくり活動への関わりについて

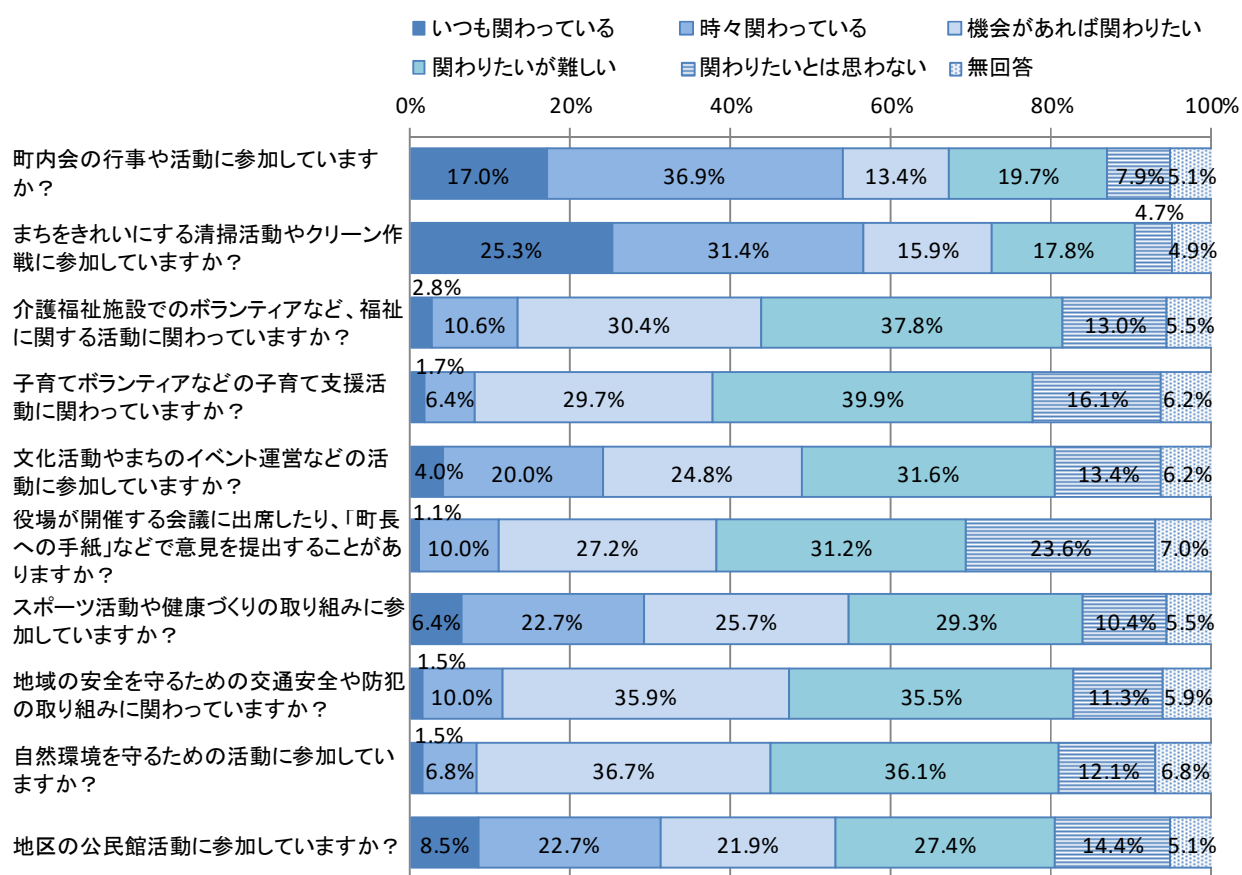
### 問18 現在の住民活動への関わり方

現在の住民活動への関わり方について「いつも関わっている」「時々関わっている」の割合が高いのは「町内会の行事や活動」(17.0%、36.9%)、「まちをきれいにする清掃活動やクリーン作戦」(25.3%、31.4%)であった。

「関わりたいが難しい」の割合が高いのは「子育てボランティアなどの子育て支援活動」(39.9%)、「介護福祉施設でのボランティアなど、福祉に関する活動」(37.8%)、「自然環境を守るための活動」(36.1%)、「地域の安全を守るための交通安全や防犯の取り組み」(35.5%)であった。

「関わりたいとは思わない」の割合が高かったのは「役場が開催する会議に出席したり、「町長への手紙」などで意見を提出すること」(23.6%)であった。

図表Ⅱ-4-1 現在の住民活動への関わり方 (N=471)

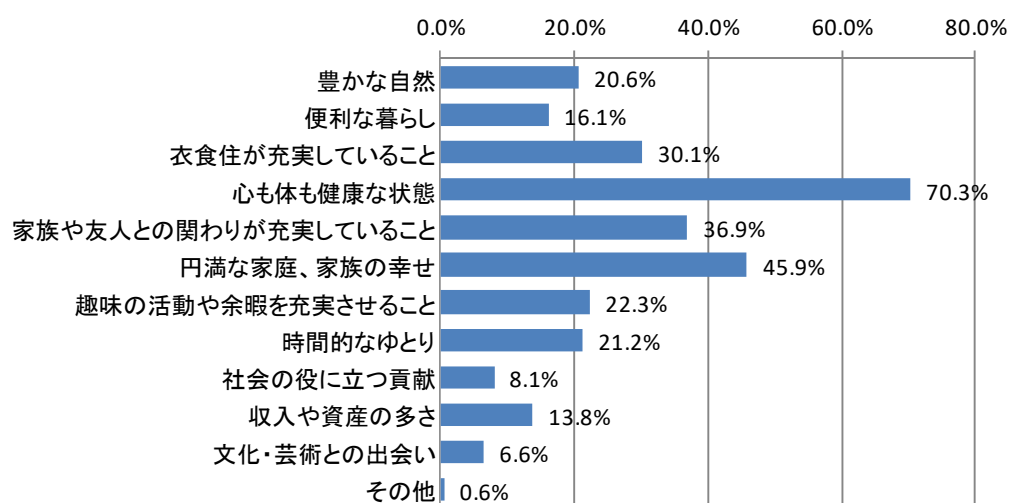


## 5 あなたにとっての「豊かさ」について

### 問19 あなたにとって「豊かさ」とは

あなたにとって、「豊かさ」とは何かをたずねたところ、「心も体も健康な状態」が70.3%と最も高く、次いで「円満な家庭、家族の幸せ」が45.9%、「家族や友人との関わりが充実していること」が36.9%、「衣食住が充実していること」が30.1%となっている。

図表Ⅱ-5-1 あなたにとって「豊かさ」とは（複数回答、N=471）



年齢別にみると、「18～19歳」「20～29歳」では「衣食住が充実していること」がそれぞれ56.3%、51.9%と、他の年齢と比べて割合が高くなっている。

「60～64歳」「65～69歳」では「心も体も健康な状態」がそれぞれ89.4%、86.3%と、他の年齢と比べて割合が高くなっている。

「18～19歳」では「家族や友人との関わりが充実していること」が56.3%と、他の年齢と比べて割合が高くなっている。

「30～39歳」「40～49歳」では「円満な家庭、家族の幸せ」がそれぞれ62.3%、54.3%と、他の年齢と比べて割合が高くなっている。

「30～39歳」では「収入や資産の多さ」が22.1%と、他の年齢と比べて割合が高くなっている。

図表Ⅱ-5-2 あなたにとって「豊かさ」とは（複数回答、年齢別）

上段：件数、下段：%

	全体	豊かな自然	便利な暮らし	衣食住が充実していること	心も体も健康な状態	家族や友人との関わりが充実していること	円満な家庭、家族の幸せ	趣味の活動や余暇を充実させること	時間的なゆとり	社会の役にたつ貢献	収入や資産の多さ	文化・芸術との出会い	その他
全体	471	97 20.6	76 16.1	142 30.1	331 70.3	174 36.9	216 45.9	105 22.3	100 21.2	38 8.1	65 13.8	31 6.6	3 0.6
18～19歳	16	5 31.3	4 25.0	9 56.3	10 62.5	9 56.3	7 43.8	2 12.5	2 12.5	1 6.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0
20～29歳	52	15 28.8	13 25.0	27 51.9	28 53.8	20 38.5	17 32.7	13 25.0	11 21.2	0 0.0	7 13.5	1 1.9	0 0.0
30～39歳	77	11 14.3	8 10.4	21 27.3	49 63.6	36 46.8	48 62.3	10 13.0	15 19.5	2 2.6	17 22.1	4 5.2	2 2.6
40～49歳	92	20 21.7	17 18.5	27 29.3	58 63.0	31 33.7	50 54.3	21 22.8	23 25.0	9 9.8	16 17.4	8 8.7	1 1.1
50～59歳	90	19 21.1	11 12.2	26 28.9	70 77.8	24 26.7	42 46.7	18 20.0	22 24.4	8 8.9	13 14.4	8 8.9	0 0.0
60～64歳	47	5 10.6	3 6.4	12 25.5	42 89.4	14 29.8	19 40.4	15 31.9	8 17.0	7 14.9	6 12.8	5 10.6	0 0.0
65～69歳	51	9 17.6	10 19.6	8 15.7	44 86.3	18 35.3	18 35.3	12 23.5	10 19.6	5 9.8	2 3.9	2 3.9	0 0.0
70～74歳	45	13 28.9	10 22.2	11 24.4	29 64.4	22 48.9	15 33.3	14 31.1	8 17.8	6 13.3	3 6.7	3 6.7	0 0.0
無回答	1	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0